

令和 7 年度

仕 様 書

事 業 名： 特定都市河川浸水被害対策推進事業

工 事 場 所： 竹原市本町

工 事 名： 大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）

工 事 概 要： 調整地整備 1 式
掘削工 $V=3,000\text{m}^3$
水路工 $N=1$ 式
付帯道路工 $N=1$ 式
管きょ工 $L=14\text{m}$

【添付書類】
☐ 特記仕様書
☐ 工事数量総括表
☐ 図面 等

特記仕様書（個別事項）

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、大王地区浸水対策事業大王調整地整備工事（2期工事）に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**
 - ・ **特記仕様書（共通事項）（令和7年6月）広島県**
- ※ 土木工事共通仕様書、特記仕様書（共通事項）は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
- ※ 主任技術者等の兼務制限の緩和について（別紙1）は、「竹原市の入札・契約」に掲載している。
<https://www.city.takehara.lg.jp/soshikikarasagasu/zaiseika/gyomuunnai/3/kensetsukonsaru/2/1619.html>

第2節 中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とし、実施については特記仕様書（共通事項）第1章 総則 第2節 中間検査に従うこと。

第3節 情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-25 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

第4節 完全週休2日（土日）適用工事

- 本工事は、完全週休2日（土日）適用工事（受注者希望型）であり、「竹原市週休2日適用工事等実施要領（令和7年6月1日一部改正）」に従うこと。
- なお、工事着手までに「休日取得計画表」を記載した施工計画書を監督職員に提出するものとし、対象期間を明確にするため、工事着手日と工事完了日を計画表に明記するものとする。
- ※竹原市週休2日適用工事等実施要領については、「竹原市の入札・契約」に掲載している。
https://www.city.takehara.lg.jp/material/files/group/4/syukyu2katekiyokouzi_zissiyoryo.pdf
- ※様式「休日取得計画表」は「広島県の調達情報HP＞公共工事等の情報_様式集＞建設工事関係_その他契約関係様式」に掲載している。

第5節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第6節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
 - (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
 - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
 - (4) 建設発生土の搬出量
 - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
- 受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
- 受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
- 受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 13 建設発生土の最終搬出先までの確認
- 受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。
- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
 - (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
 - (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
 - (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出ししないもの）

第2章 材料

第1節 材料費

見積りにより決定した単価については、参考図書を参照のこと。その他資材については、公表単価による。

第3章 施工条件

第1節 工程

1 関連する別途工事

- | | |
|--------|---|
| 工事名 | 大王地区浸水対策事業 大王調整地マンホールポンプ整備工事 |
| 他工事の内容 | 水中ポンプφ150 N=2台、ポンプ制御盤 N=1台、引込開閉器盤 N=1面、流入可動堰 N=1門 |
| 時期 | 令和7年5月24日～令和8年3月31日 |
- ・本工事区域内において上記工事が進行中であるため、工程調整を円滑に行い、工事間調整による工程遅延がないよう努めること。
なお、工事間調整による工期の延伸は認めないものとする。
 - ・ポンプや流入可動堰等の機械設備工事に関連する工種については、当該施設工事の受注業者と工程調整を密に行い、機械設備の据付に遅延が生じないよう関連する工事を完了しておくこと。
 - ・その他、今後発注が見込まれる関連工事についても同様に、円滑な工程調整に努めること。

2 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

- | | |
|------|--------------------------------|
| 調査項目 | 地下埋設物 |
| 調査時期 | 適宜（支障物件が発見された場合は、監督職員と協議すること。） |
| 移設期間 | 適宜 |

第2節	用地	
	1 仮設ヤード	
	場所・範囲	2号調整地予定地（平面図内に明示）を本工事の仮置き場とする。詳細については、別途協議により決定する。
	時期	工事期間中
	期間	〃
第3節	安全対策	
	1 交通安全施設	
	内容	夜間において現道の迂回等が必要な場合は、赤色灯等の保安施設を設置すること。
	期間	市道の迂回が必要な期間。
第4節	盛土	
	1 流用土（工事内流用）	
		本工事の施工により発生する土のうち、480m3（地山土量）については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。
第5節	建設副産物	
	1 建設発生土（搬出）（ストックヤード）（指定処分（A））	
		当該工事により発生する建設発生土の一部は、次の指定地に搬出するものとする。
	搬出場所	2号調整地予定地（平面図明示）
		なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。
	2 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地）（指定処分（A））	
		当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。
		また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。
	搬出場所	有限会社エス・エス朝日山残土処理場（竹原市下野町字朝日山）
		なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。
	2 コンクリート殻（搬出）	
		当該工事により発生するコンクリート殻の処分先については、次の処分先条件を想定している。
	（コンクリート殻（無筋））	
	運搬距離	4.5キロメートル
	受入費用	1,500円／t
	（コンクリート殻（有筋））	
	運搬距離	4.5キロメートル
	受入費用	1,800円／t
		なお、積算上の搬出先として、再資源化施設のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第6節 薬液注入

- 1

薬液注入

次の条件を見込んでいる。
- 工法区分

二重管ストレーナー（複相式）
- 材料

溶液型
- 施工範囲

立坑（底部、側面）
- 削孔数量

数量計算参照
- 2

周辺環境調査

施工前・中1回・後の3回地下水の水質を調査すること。

第7節 その他

- 1

支給・貸与品

次のとおり支給品を使用すること。
- 品名

仕様書確認のこと。
- 数量

仕様書確認のこと。
- 引渡場所

現場にて
- 現場内における支給品の積込、荷卸、運搬については受注者の負担で行うこと。

第4章 その他

- ・工事中において、周辺の環境対策のため適宜、散水等の粉塵対策を実施すること。
- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
築堤・護岸		式		1	レベル1
河川土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削	【土砂 オープンカット 押土無し】 【障害無し 5,000m3未満】	m3		3,000	レベル4
床掘工		式		1	レベル3
床掘り	【土砂】	式		1	レベル4
埋戻し		式		1	レベル3
埋戻し	【土砂】	式		1	レベル4
盛土工		式		1	レベル3
路体(築堤)盛土	【施工幅員2.5m未満】	m3		90	レベル4
構造物取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	【機械施工】	m3		23	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
運搬処理工		式		1	レベル3
矢板護岸工		式		1	レベル2
笠コンクリート工		式		1	レベル3
現場打ち笠コンクリート	【24-12-25 (20) BB, H600*W700】	m		3	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
プレキャスト笠コンクリート	【H600*W700】	m		130	レベル4
矢板工		式		1	レベル2
壁面パネル		式		1	レベル3
壁面パネル設置工		m2		289	レベル4
擁壁護岸工		式		1	レベル2
場所打擁壁工(構造物単位)		式		1	レベル3
重力式擁壁		m3		50	レベル4
コマ型コンクリート基礎工		m2		52	レベル4
小型擁壁	【平均H=0.6〜0.8m, 18-8-40BB】	m3		9	レベル4
場所打擁壁工(管理用階段)		式		1	レベル3
基礎材	【RC-40, t=100】	m2		6	レベル4
均しコンクリート	【18-8-25 (20) BB, t=50】	m2		0.3	レベル4
コンクリート	【18-8-40BB】	m3		9	レベル4
型枠	【一般型枠】	式		1	レベル4
段鼻部		m		14	レベル4
調整地底張工		式		1	レベル2
調整地底張工		式		1	レベル3
均しコンクリート		m3		83	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
底張コンクリート		m3		166	レベル4
付帯道路工		式		1	レベル2
防護柵基礎工		式		1	レベル3
プレキャストガードレール基礎	【700H×1500B×2000L】 【700H×1800B×2000L】	m		124	レベル4
現場打ガードレール基礎	【SD295_D13/16】	m		31	レベル4
路側防護柵工		式		1	レベル3
ガードレール	【各種】	m		159	レベル4
転落防止柵工		式		1	レベル3
転落防止柵設置		m		13	レベル4
メッシュフェンス基礎工		基		76	レベル4
メッシュフェンス設置工		m		167	レベル4
メッシュフェンス門扉基礎工		箇所		5	レベル4
メッシュフェンス門扉設置工				3	レベル4
門扉工		式		1	レベル3
門扉基礎工		式		1	レベル4
門扉設置工		基		1	レベル4
アスファルト舗装工		式		1	レベル3
下層路盤(車道・路肩部)	【RC-40, t=100】	m2		560	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
上層路盤(車道・路肩部)	【RM-30, t=150】	m2		560	レベル4
コンクリート舗装工		式		1	レベル3
下層路盤(車道・路肩部)	【RC-40, t=150】	m2		88	レベル4
下層路盤(歩道部)	【RC-40, t=150】	m2		47	レベル4
コンクリート舗装	【18-8-25 (20) BB, t=150】	m2		135	レベル4
張りコンクリート		式		1	レベル3
張りコンクリート	【18-8-20BB】	m2		113	レベル4
側溝工		式		1	レベル3
L型側溝	【W=500, H=190】	m		18	レベル4
自由勾配側溝	【300*300*2000】	m		214	レベル4
側溝蓋	【300用 L=500】	枚		214	レベル4
暗渠排水管	【据付 直管 VU200】	m		11	レベル4
巻きコンクリート	【18-8-25 (20) BB】	m3		0. 4	レベル4
集水枳工		式		1	レベル3
プレキャスト集水枳	【300*300*600】 【18-8-25 (20) BB】	箇所		13	レベル4
縁石工				1	レベル3
地先境界ブロック	【C種 (150×150×600) 】	m		63	レベル4
樋門・樋管		式		1	レベル1

工事数量総括表

頁0 -0005

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
水路工（調整地内）		式		1	レベル2
側溝工		式		1	レベル3
自由勾配側溝	【各種】	m		66	レベル4
側溝蓋	【300用 L=2000】	枚		34	レベル4
集水樹工		式		1	レベル3
プレキャスト集水樹	【300*300*760/1000*1000*1000】	箇所		6	レベル4
水路工（流入可動堰）		式		1	レベル2
矩形マンホール工		式		1	レベル3
コマ型コンクリート基礎工		m2		5	レベル4
矩形マンホール設置	1800*1500	個		3	レベル4
簡易床版		個		1	レベル4
嵩上げコンクリート		m3		0.09	レベル4
底張コンクリート		m3		0.6	レベル4
裏込コンクリート		m3		6	レベル4
防護コンクリート		m3		2	レベル4
階段コンクリート		m3		1	レベル4
暗渠工		式		1	レベル3
プレキャストボックス	【W1000*H1200】	m		4	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0006

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
昇降用設備工		式		1	レベル3
昇降用設備設置		式		1	レベル4
構造物取壊し工		式		1	レベル3
鋼材切断	【鋼矢板】	箇所		1	レベル4
水路工（流入固定堰）		式		1	レベル2
場所打擁壁工(構造物単位)		式		1	レベル3
重力式擁壁		m3		5	レベル4
側溝工		式		1	レベル3
自由勾配側溝	【500*1000*1000】	m		1	レベル4
側溝蓋	【500用 L=500】	枚		1	レベル4
集水樹工		式		1	レベル3
現場打ち集水樹（流入固定堰）	【18-8-40BB（固定堰本体）】	箇所		1	レベル4
蓋	【床用グレーチング IB H44 * t5/3】	枚		1	レベル4
プレキャスト集水樹	【500*500/1000*1000】	箇所		2	レベル4
暗渠工		式		1	レベル3
プレキャストボックス	【W1000*H500*L1010】	m		2	レベル4
管路施設(開削工法)		式		1	レベル1
立坑工		式		1	レベル2

工事数量総括表

頁0 -0007

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
立坑掘削		式		1	レベル3
管路掘削		式		1	レベル4
管路埋戻		式		1	レベル4
発生土処理		式		1	レベル4
整地		m3		70	レベル4
基礎碎石	【RC-40】	m3		3	レベル4
管路土留工		式		1	レベル3
土留支保工(鋼製支保工)		m		15	レベル4
鋼矢板土留(鋼矢板)		式		1	レベル4
水替工		式		1	レベル3
水替工		式		1	レベル4
補助地盤改良工		式		1	レベル3
薬液注入		式		1	レベル4
管きょ工(開削)		式		1	レベル2
管路土工		式		1	レベル3
管路掘削		式		1	レベル4
管路埋戻		式		1	レベル4
発生土処理		式		1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0008

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
管布設工		式		1	レベル3
ポリエチレン管		m		14	レベル4
継手類		箇所		9	レベル4
管明示シート工		m		14	レベル4
管基礎工		式		1	レベル3
砂基礎	【砂】	m		17	レベル4
埋設物防護工		式		1	レベル3
埋設物防護		式		1	レベル4
マンホール工		式		1	レベル2
組立マンホール工		式		1	レベル3
組立4号マンホール		箇所		1	レベル4
制御盤基礎工		式		1	レベル2
制御盤基礎工		式		1	レベル3
基礎材	【RC-40, t=150】	m2		13	レベル4
均しコンクリート	【18-8-25(20)BB, t=50】	m2		13	レベル4
コンクリート	【無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB】	m3		22	レベル4
鉄筋	【SD345_D13】	t		0.29	レベル4
型枠	【一般型枠】	式		1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0009

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
モルタル仕上げ		式	1	レベル4
配線用ビット工		式	1	レベル3
配線用ビット受枠		m	2	レベル4
配線用ビット縞鋼板		kg	22	レベル4
転落防止柵工		式	1	レベル3
転落防止柵設置		m	14	レベル4
＊＊直接工事費＊＊				
運搬費				
運搬費		式	1	レベル2
運搬費		式	1	レベル3
仮設材運搬費		t	7.46	レベル4
共通仮設費率分				
＊＊共通仮設費計＊＊				
＊＊純工事費＊＊				
現場管理費				
＊＊工事原価＊＊				
一般管理費率分				
契約保証費				

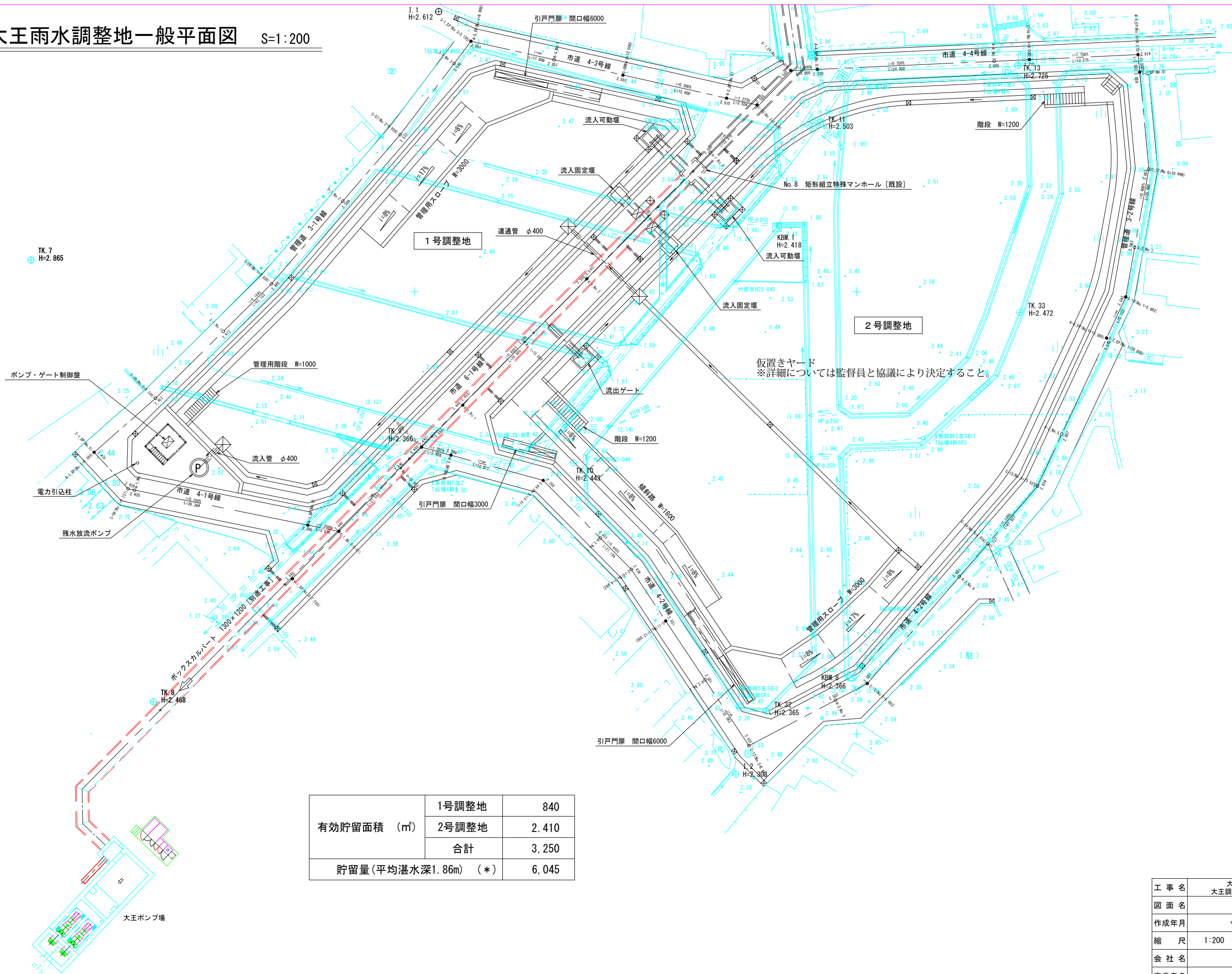
工事数量総括表

頁0 -0010

[illegible]

大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）						図面目録		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
1	調整地一般平面図	1:200	26	引戸門扉構造図	1:20			
2	調整地標準断面図	1:100	27	安全柵構造図	1:20			
3	道路縦断図(1)	図示	28	舗装計画平面図	1:200			
4	道路縦断図(2)	図示	29	舗装工構造図	1:20			
5	道路縦断図(3)	図示	30	管理用階段構造図	図示			
6	道路縦断図(4)	図示	31	流入固定堰構造図	図示			
7	道路横断図(1)	図示	32	流入可動堰構造図(1)	1:50			
8	道路横断図(2)	図示	33	流入可動堰構造図(2)	1:50			
9	道路横断図(3)	図示	34	マンホールポンプ構造図	1:50			
10	道路横断図(4)	図示	35	送水管布設図	図示			
11	壁面パネル計画図(1)	図示	36	制御盤基礎構造図	図示			
12	壁面パネル計画図(2)	図示	37	制御盤基礎配筋図	図示			
13	笠コンブロック計画図	1:200	参-1	マンホールポンプ山留仮設図	1:50			
14	笠コンブロック構造図	1:20	参-2	マンホールポンプ補助工法図	1:50			
15	プレキャストガードレール基礎計画図(1)	1:200						
16	プレキャストガードレール基礎計画図(2)	1:200						
17	プレキャストガードレール基礎構造図	図示						
18	擁壁工計画平面図	1:200						
19	擁壁構造図	図示						
20	擁壁展開図	図示						
21	排水計画平面図	1:200						
22	排水工構造図	1:20						
23	防護柵計画平面図	1:200						
24	防護柵構造図	1:20						
25	メッシュフェンス構造図	1:20						

大王雨水調整地一般平面図 S=1:200

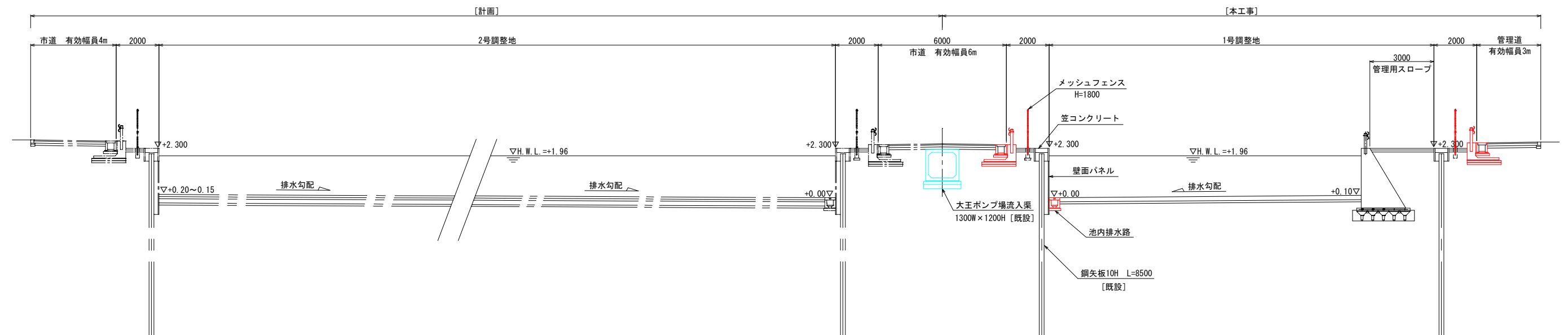


工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事 (2期工事)		
図 面 名	一般平面図		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	1:200	図面番号	1 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

【図面縮尺は表示の50%とする】

調整地標準断面図

S=1:100

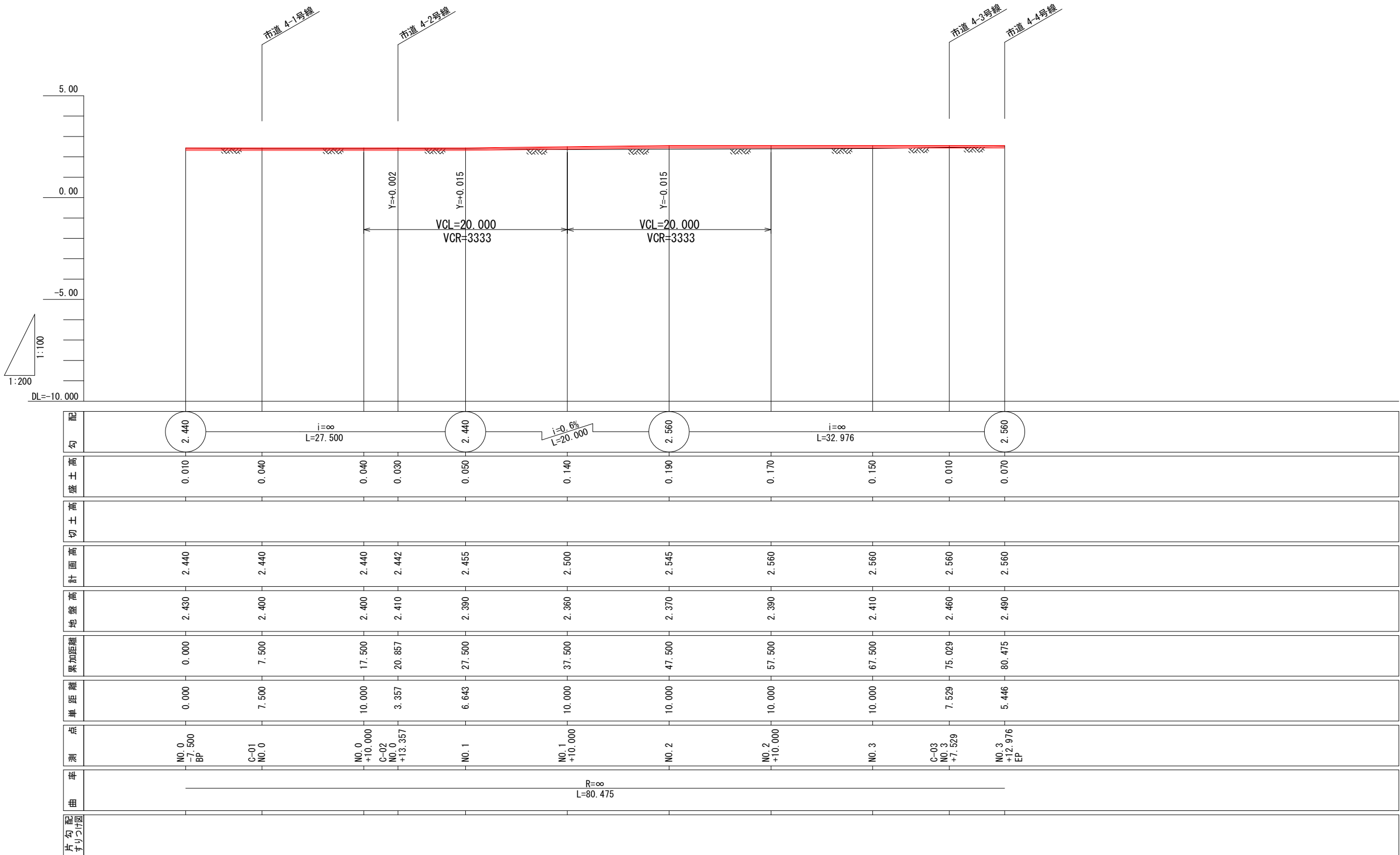


工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）		
図 面 名	調節池標準断面図		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	1:100	図面番号	2 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

道路縦断図(1)

V=1:100
H=1:200

[市道 6-1号線]

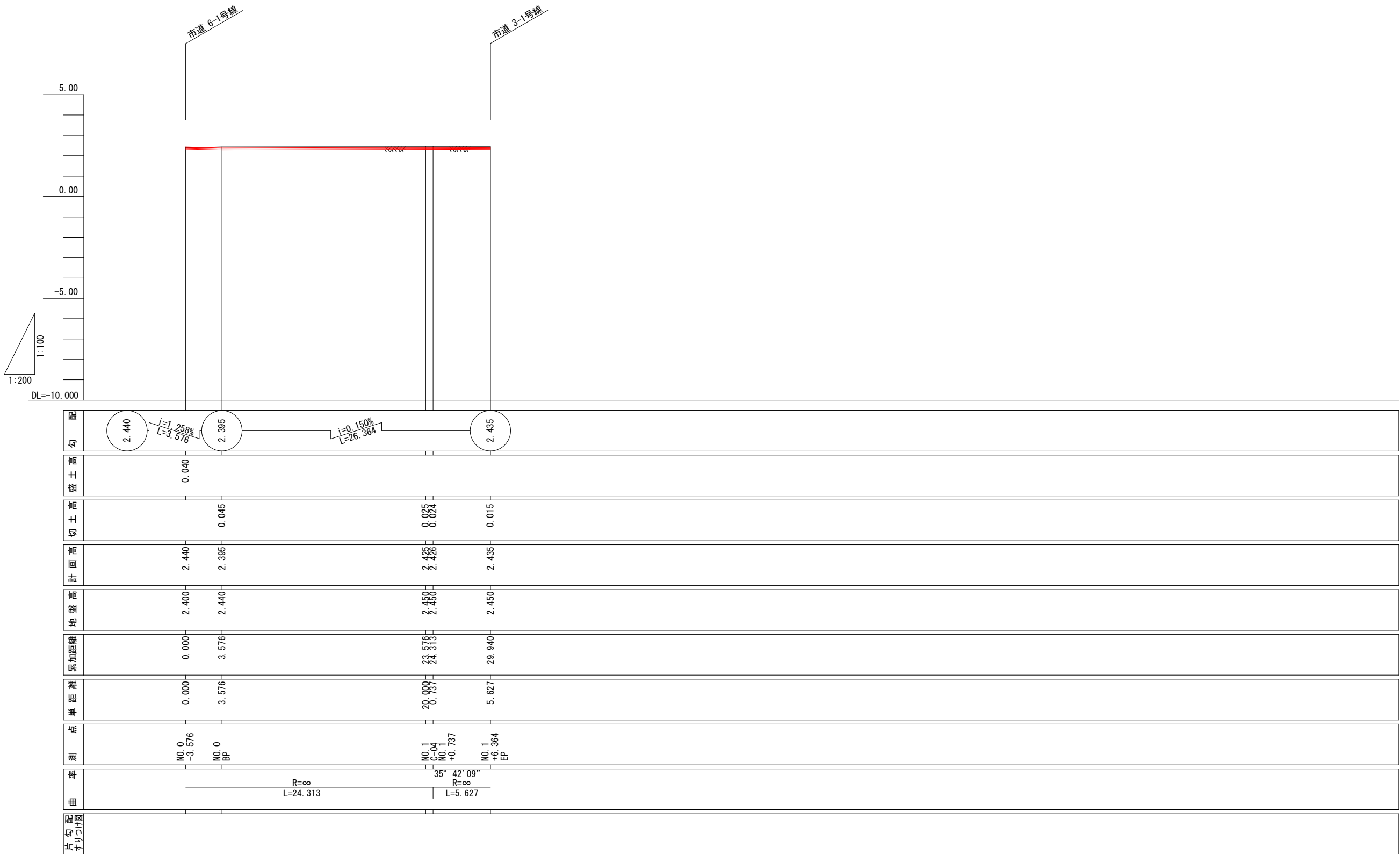


工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）			
図 面 名	道路縦断図(1)			
作成年月	令和 7 年 6 月			
縮 尺	図示	図面番号	3	／ 37
会 社 名				
事業者名	竹 原 市			

道路縦断図(2)

V=1:100
H=1:200

[市道 4-1号線]

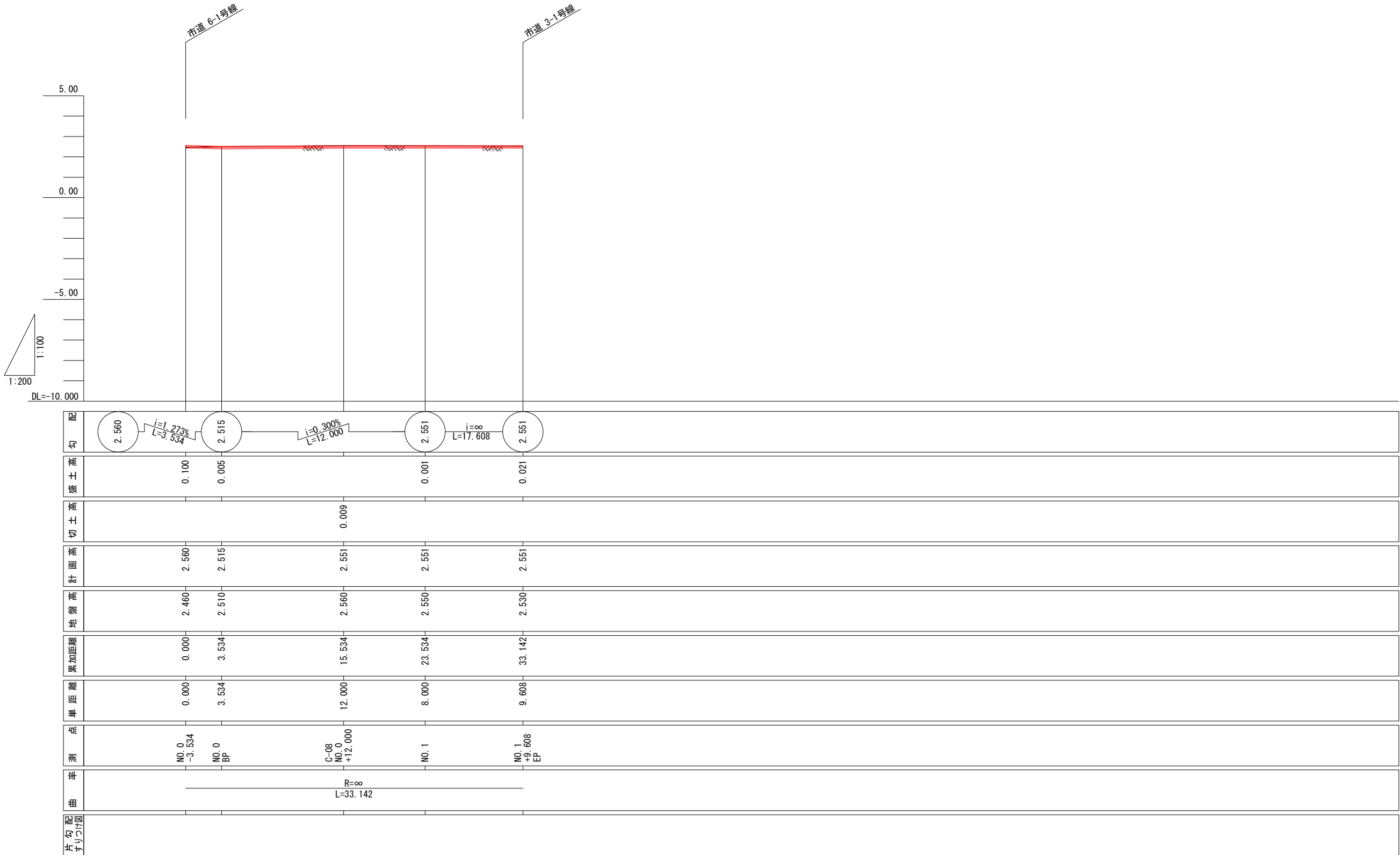


工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）			
図 面 名	道路縦断図(2)			
作成年月	令和 7 年 6 月			
縮 尺	図示	図面番号	4	／ 37
会 社 名				
事業者名	竹 原 市			

道路縦断図(3)

V=1:100
H=1:200

[市道 4-3号線]



工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）			
図 面 名	道路縦断図(3)			
作成年月	令和 7 年 6 月			
縮 尺	図示	図面番号	5	／ 37
会 社 名				
事業者名	竹 原 市			

V=1:100
H=1:200

市道 4-3号線

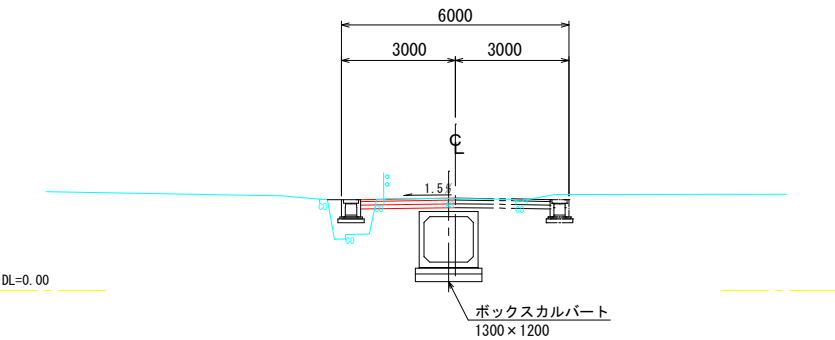


道路横断図(1) S=1:100

[市道 6-1号線]

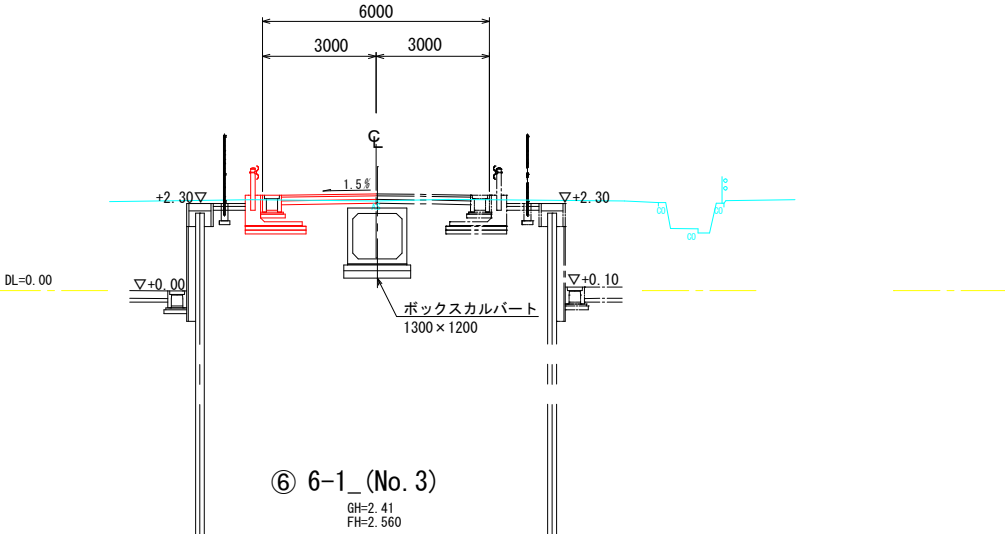
6-1_BP (No. 0-7.500)

GH=2.43
FH=2.440



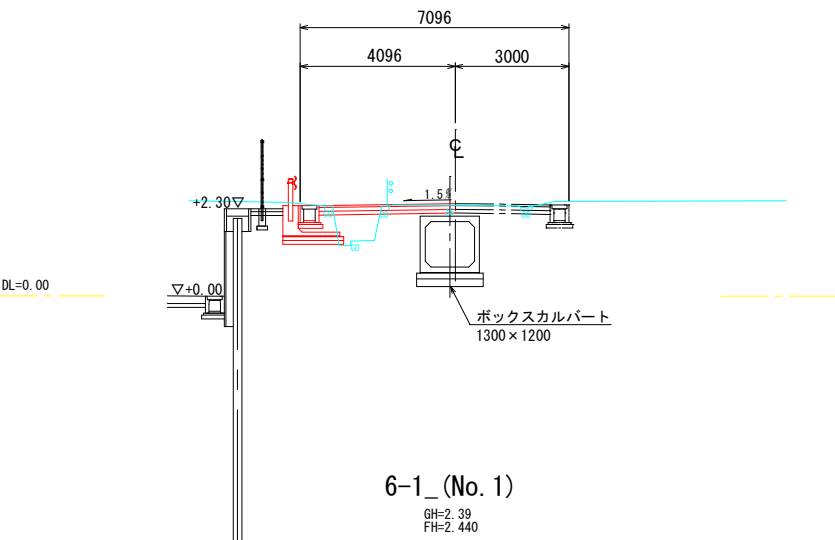
6-1_ (No. 2)

GH=2.37
FH=2.560



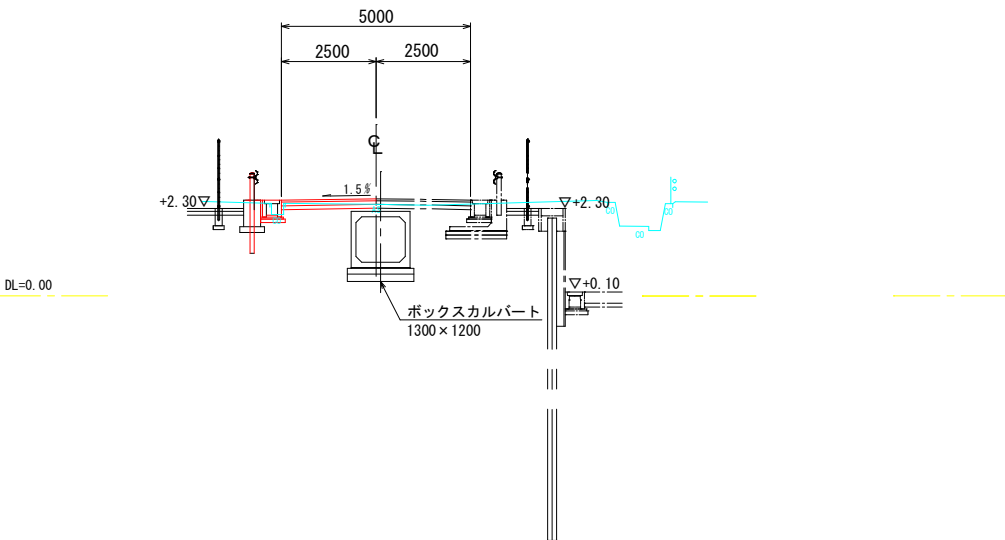
C-01_ (No. 0)

GH=2.40
FH=2.440



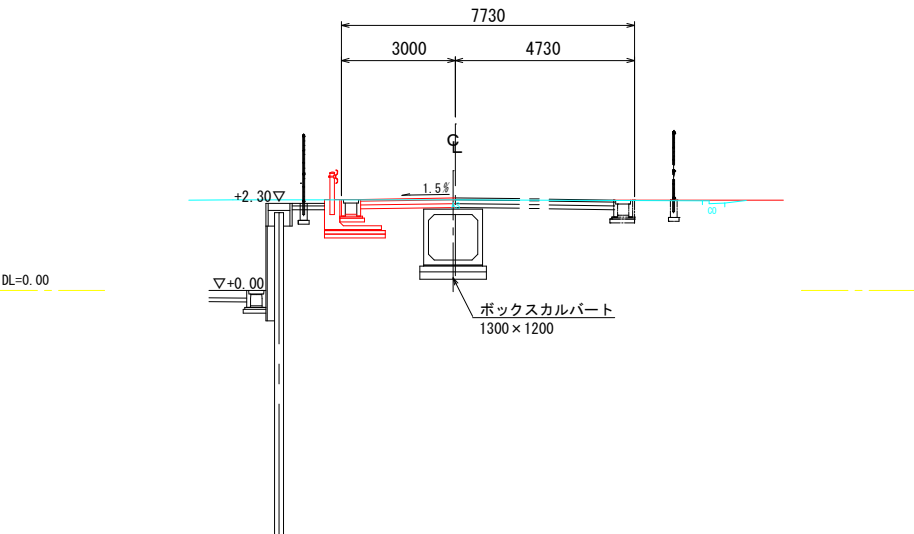
⑥ 6-1_ (No. 3)

GH=2.41
FH=2.560



6-1_ (No. 1)

GH=2.39
FH=2.440

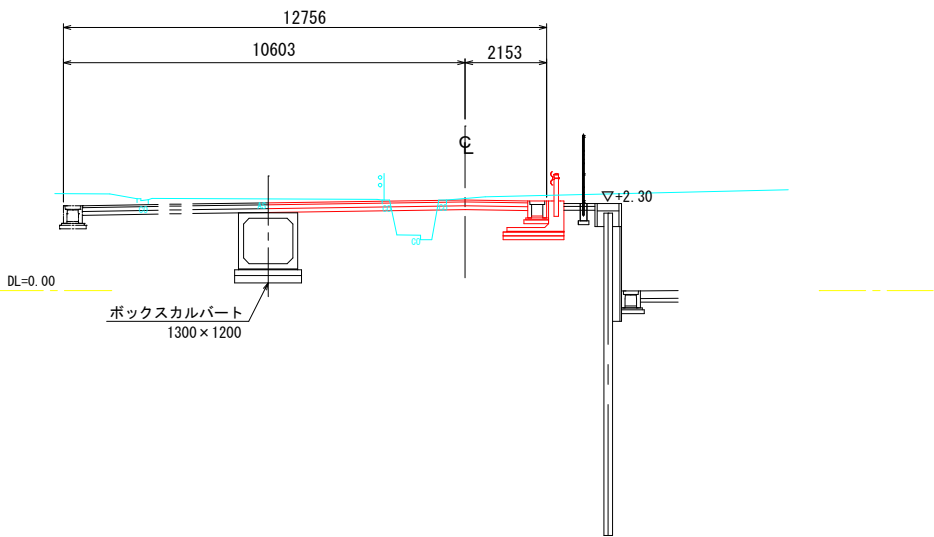


工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事 (2期工事)			
図 面 名	道路横断図 (1)			
作成年月	令和 7 年 6 月			
縮 尺	図示	図面番号	7	/ 37
会 社 名				
事業者名	竹 原 市			

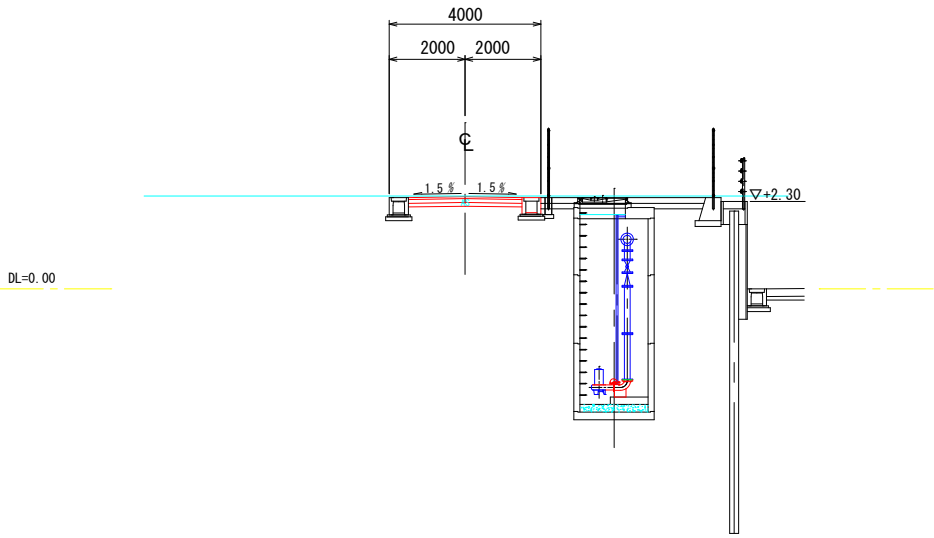
道路横断図(2) S=1:100

[市道 4-1号線]

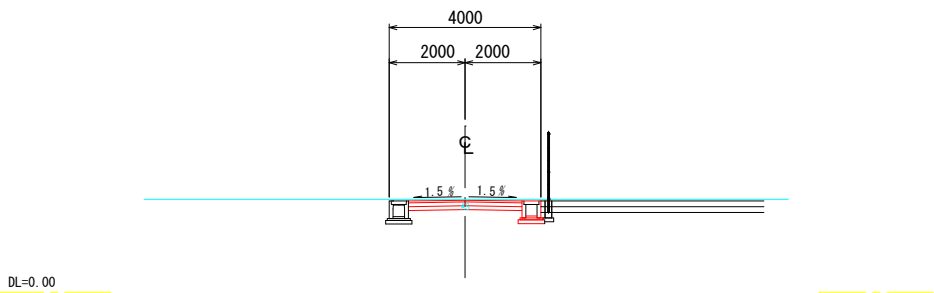
4-1_BP (No. 0)
GH=2.44
FH=2.395



4-1_ (No. 0+13.000)
GH=2.45
FH=2.415



4-1_ (No. 1)
GH=2.45
FH=2.425

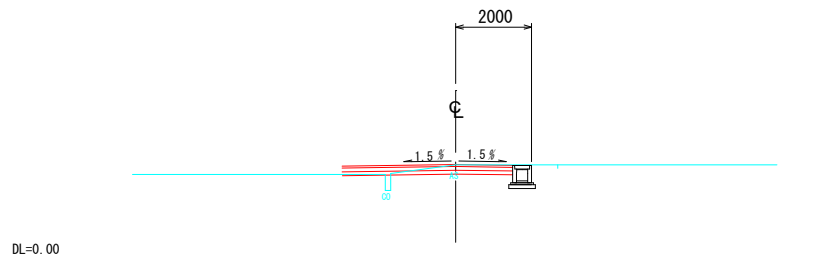


工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事 (2期工事)			
図 面 名	道路横断図(2)			
作成年月	令和 7 年 6 月			
縮 尺	図示	図面番号	8	／ 37
会 社 名				
事業者名	竹 原 市			

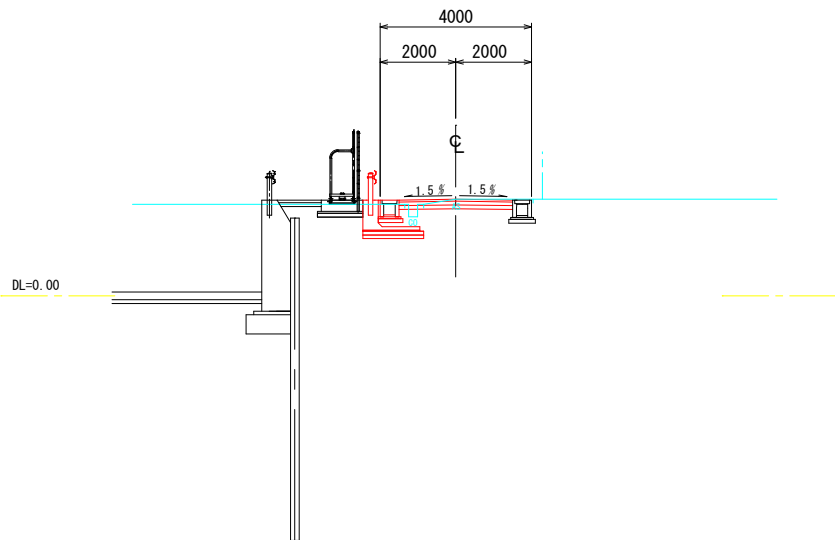
道路横断図(3) S=1:100

[市道 4-3号線]

4-3_BP (No. 0)
GH=2.51
FH=2.515



4-3_ (No. 1)
GH=2.55
FH=2.551

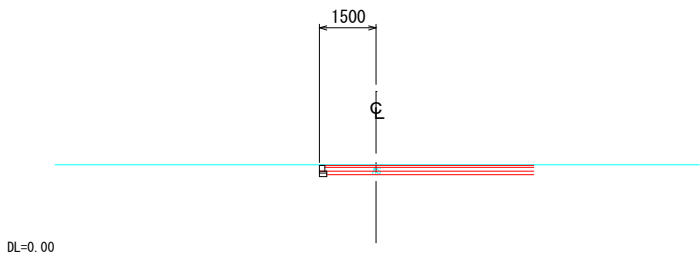


工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事 (2期工事)			
図 面 名	道路横断図(3)			
作成年月	令和 7 年 6 月			
縮 尺	図示	図面番号	9	／ 37
会 社 名				
事業者名	竹 原 市			

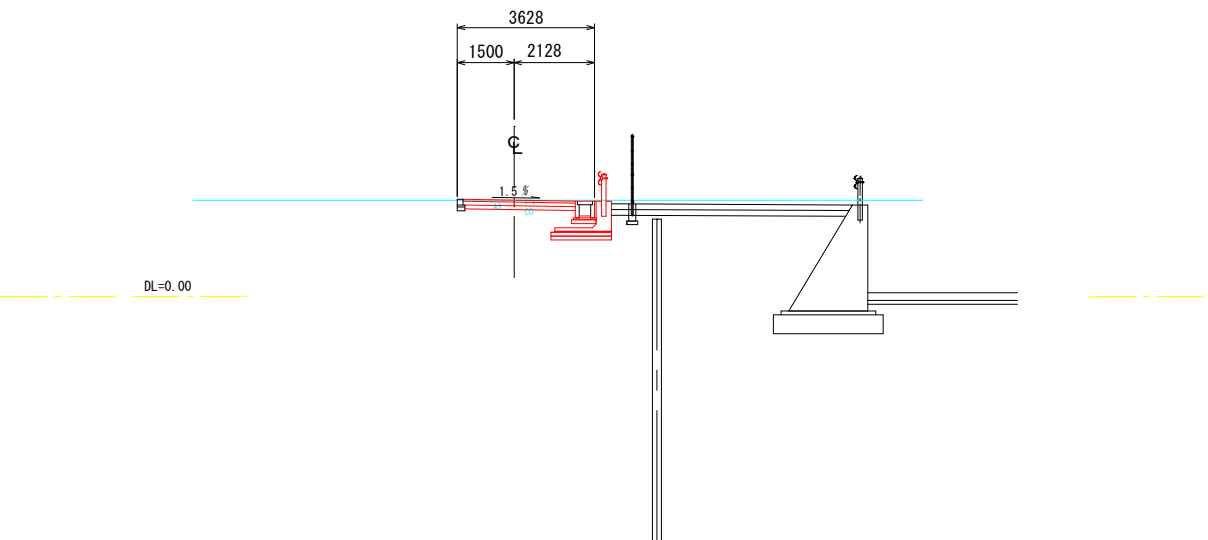
道路横断図(4) S=1:100

[管理道 3-1号線]

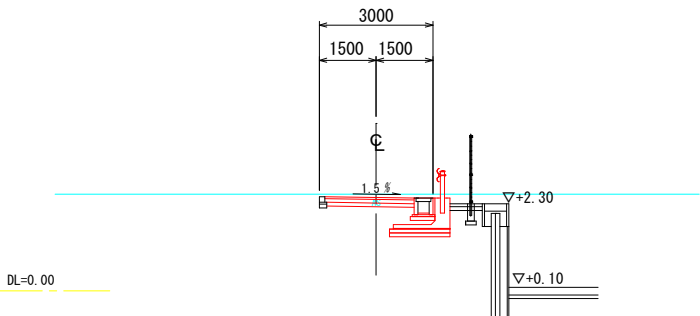
3-1_BP (No. 0)
GH=2.45
FH=2.435



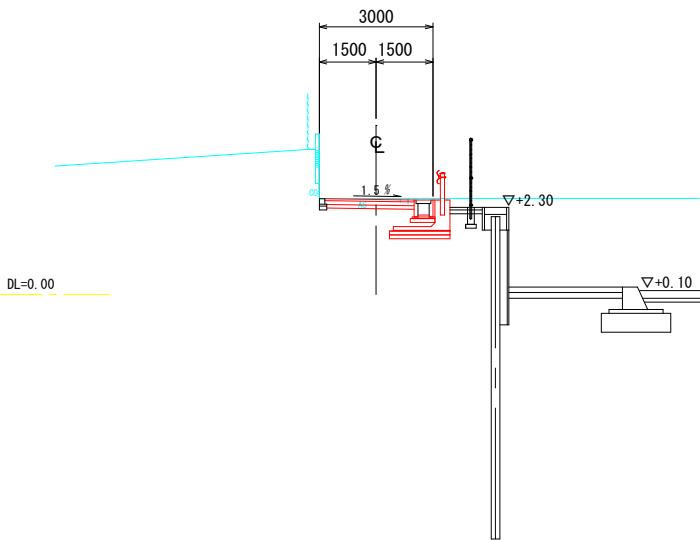
3-1_ (No. 3)
GH=2.54
FH=2.545



3-1_ (No. 1)
GH=2.56
FH=2.472



3-1_ (No. 2)
GH=2.53
FH=2.509



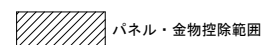
工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事 (2期工事)			
図 面 名	道路横断図(4)			
作成年月	令和 7 年 6 月			
縮 尺	図示	図面番号	10	／ 37
会 社 名				
事業者名	竹 原 市			

1号調整地

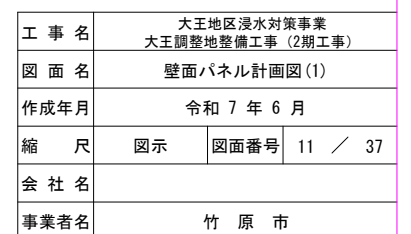
S=1 : 400

S=1 : 200

L=47868

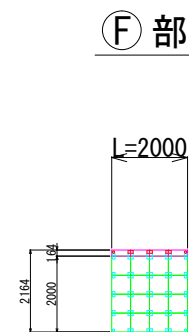


L=13073

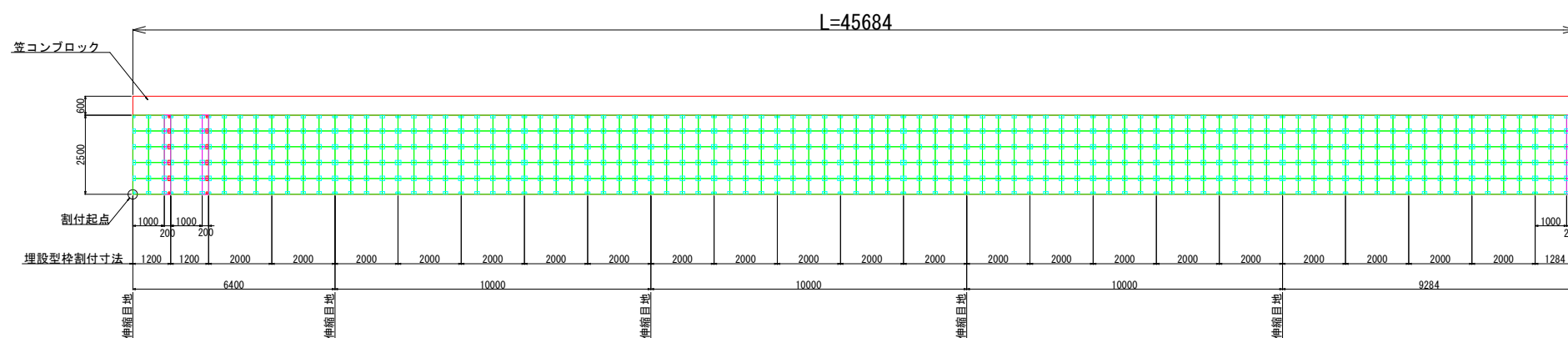


1号調整地

S=1 : 200

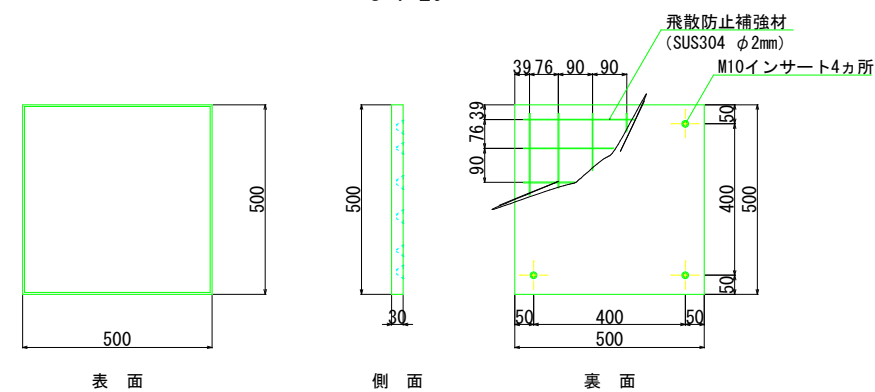


㊦ 部

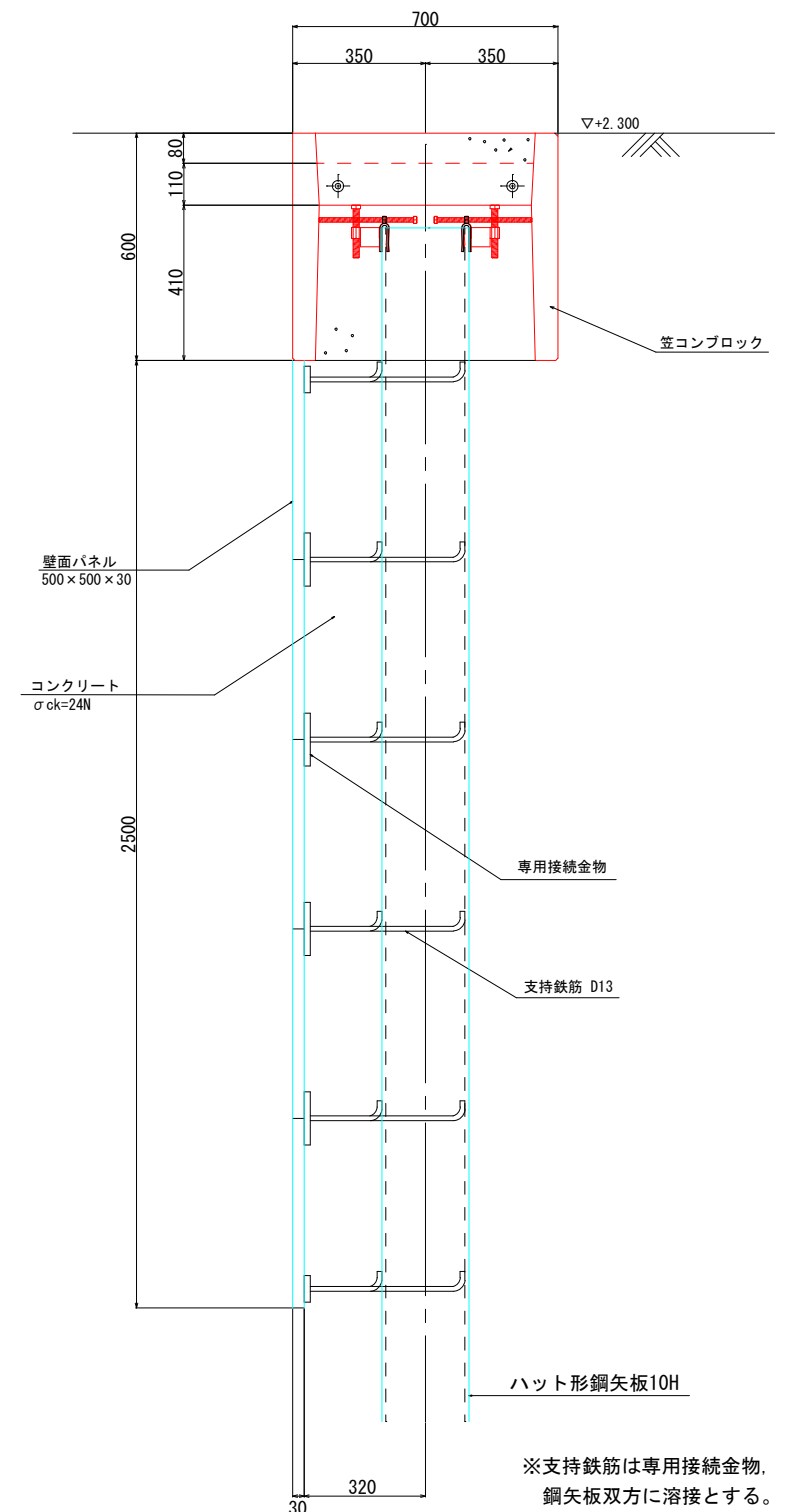


S=1 : 20

矢視	設置面積	パネル			専用接続金物				
		標準	切断	合計	標準4点	標準2点	標準1点	切断2点	切断1点
									
	m ²	枚	枚	枚	個	個	個	個	個
A	80.82	316	12	328	181	238	88	9	6
B	32.68	125	15	140	84	82	20	12	6
C	13.07	50	10	60	36	26	4	8	4
D	114.21	450	15	465	276	318	90	12	6
E	44.22	160	30	190	112	108	26	28	14
F	4.33	16	4	20	12	11	2	3	2
合計	289.33	1117	86	1203	701	783	230	72	38



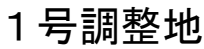
S=1:20



工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）		
図 面 名	壁面パネル計画図（2）		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図示	図面番号	12 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

S=1:200

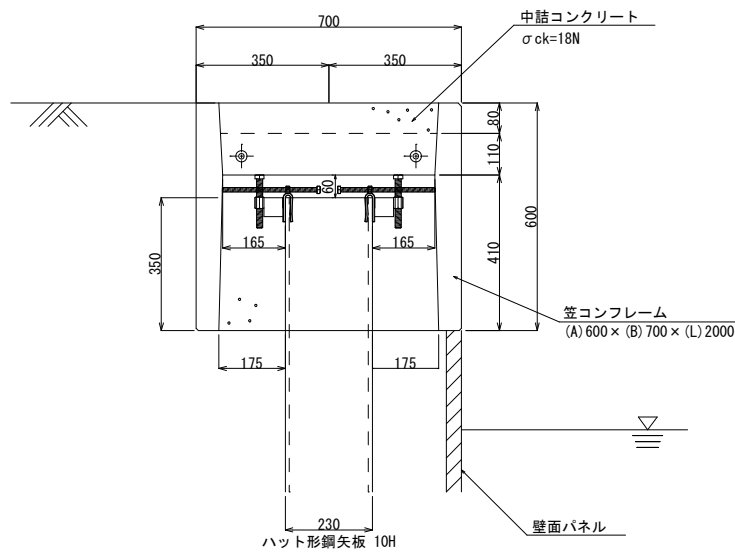
The site plan shows the layout of the 'New' building complex. It features a large, irregularly shaped main building with a central courtyard. To the left of the main building is a smaller, rectangular building. A parking lot is located to the right of the main building. The plan includes a north arrow pointing towards the top right and a scale bar indicating 0, 10, and 20 meters. The main building is labeled '新建築' (New Building) and the smaller building is labeled '旧建築' (Old Building). The parking lot is labeled '駐車場' (Parking Lot).



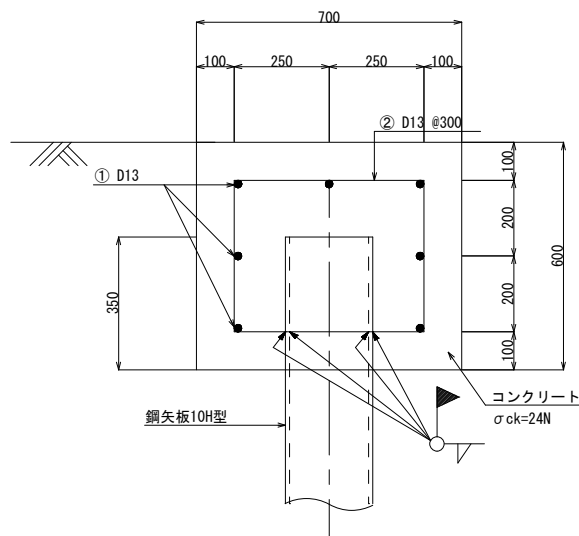
工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）		
図 面 名	笠コンブロック計画図		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	1:200	図面番号	13 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

笠コンブロック構造図

断面図 (笠コンブロック)
S=1:20



断面図 (現場打ち笠コンブロック)
S=1:20



製品数量表 (1号調整地)

製品番号	サ イ ズ				規 格	数 量	参考質量	摘 要	
	A	×	B	×					L
笠コンフレーム 模様無し									
	600	×	700	×	2000	標 準	53 本	480 kg	
1-1, 1-69				×	1400	調整用	2 本	330 kg	
1-68				×	1400	調整用	1 本	330 kg	
1-33				×	1200	調整用	1 本	290 kg	
1-34				×	1200	調整用	1 本	290 kg	
1-35				×	1627	調整用	1 本	370 kg	
1-37, 1-44				×	1600	調整用	2 本	370 kg	
1-5				×	1565 1351	斜 角	1 本	340 kg	
1-6				×	1680 1466	斜 角	1 本	360 kg	
1-9				×	1663 1485	斜 角	1 本	360 kg	
1-10				×	1700 1522	斜 角	1 本	370 kg	
1-11				×	1462 1284	斜 角	1 本	320 kg	
1-38				×	1671 1471	斜 角	1 本	360 kg	
1-59				×	1677 1705	斜 角	1 本	380 kg	
1-60				×	1335 1363	斜 角	1 本	320 kg	
合 計							69 本		

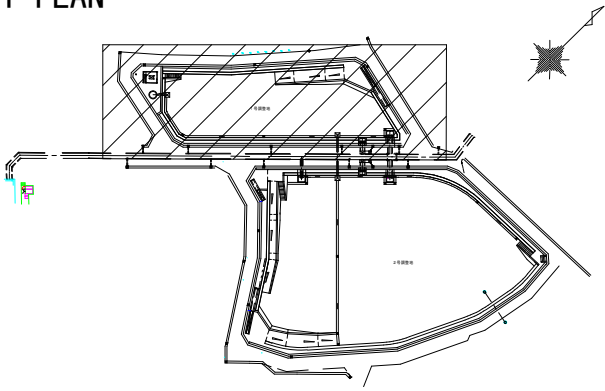
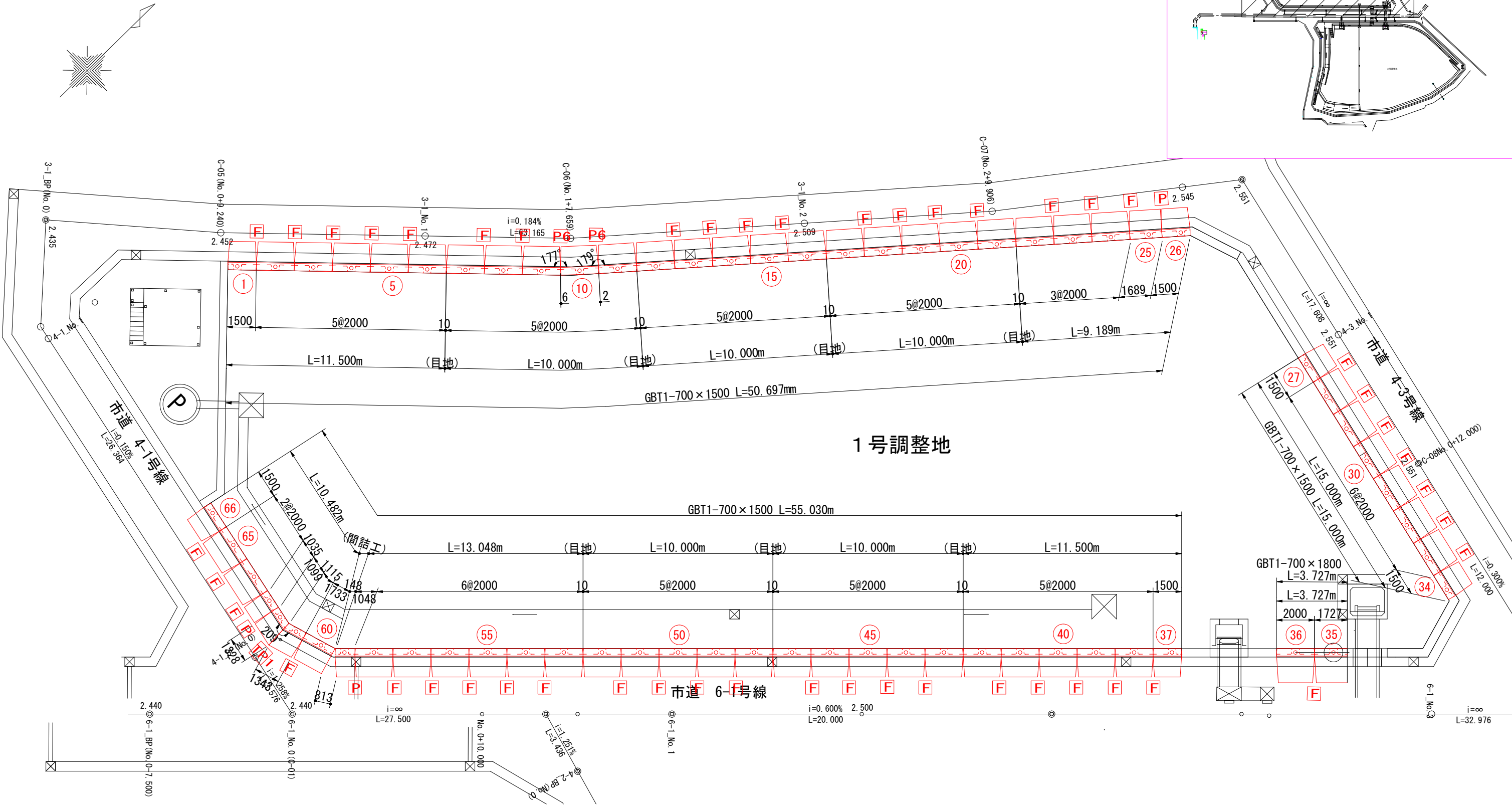
製品数量表 (2号調整地)

製品番号	サ イ ズ				規 格	数 量	参考質量	摘 要	
	A	×	B	×					L
笠コンフレーム 模様無し									
	600	×	700	×	2000	標 準	79 本	480 kg	
2-19, 2-57 2-90				×	1200	調整用	3 本	290 kg	
2-58, 2-91				×	1200	調整用	2 本	290 kg	
2-81				×	1850	調整用	1 本	380 kg	
2-84				×	1700	調整用	1 本	380 kg	
2-82				×	1382	調整用	1 本	330 kg	
2-92				×	1632	調整用	1 本	370 kg	
2-94				×	1661	調整用	1 本	380 kg	
2-10				×	1310 1344	斜 角	1 本	310 kg	
2-11				×	1239 1273	斜 角	1 本	300 kg	
2-12				×	1239 1273	斜 角	1 本	300 kg	
2-13				×	1371 1405	斜 角	1 本	330 kg	
2-59				×	1316 1350	斜 角	1 本	320 kg	
合 計							94 本		

工事名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事(2期工事)			
図面名	笠コンブロック構造図			
作成年月	令和7年6月			
縮尺	1:20	図面番号	14	/ 37
会社名				
事業者名	竹原市			

プレキャストガードレール基礎計画図(1) S=1:200

KEY PLAN



工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事 (2期工事)		
図 面 名	プレキャストガードレール基礎計画図(1)		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	1:200	図面番号	15 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

プレキャストガードレール基礎計画図(2) S=1:100

数 量 表(1号調整地)

呼 び 名	数 量	延 長(m)	備 考	製 品 番 号
700×1500×2000-BC	52	104.000		2-24, 28-33, 38-58, 64-65
700×1500×1500-BC	3	4.500	端部用 右	1, 27, 37,
700×1500×1500-BC	3	4.500	端部用 左	26, 34, 66
700×1500×1689-BC	1	1.689	短 切	25
700×1500×1048-BC	1	1.048	〃	59
700×1500×1733-BC	1	1.733	〃	60
700×1500×1035-BC	1	1.035	〃	63
700×1500×1115/1343-BC	1	1.115	斜 切	61
700×1500×1099/1328-BC	1	1.099	〃	62
700×1800×2000-BC	1	2.000		36
700×1800×1727-BC	1	1.727	短 切	35
合 計	66	124.446		

連 結 資 材 数 量 表

種 類	規 格	数 量						備 考
		F	P	P6	TP1	TP2	合計	
六角ボルト	M16×60	48 (1)					48	F8.8相当
	M16×40		6 (2)	4 (2)	2 (2)		12	F8.8相当
六角ナット	M16	48 (1)					48	F8.8相当
角ワッシャ	M16用	96 (2)	12 (4)	8 (4)	4 (4)		120	S45C
ガイドピン	50×20	48 (1)	3 (1)				51	
間隔保持材	φ50, t=5mm+10mm	48 (1)					48	
連結プレート	340×70×9		3 (1)				3	
	340×70×9 折れ角度176°			2 (1)			2	
	340×70×9 折れ角度151°				1 (1)		1	特殊
連結箇所数		48	3	2	1		54	

※()は連結1箇所当りの数量

種 類		記 号	備 考
フランジ連結		F	
プレート連結 (φ18×90)	ストレートタイプ	P	直線部
	折れ角度176°	P6	176° ≦ θ < 180° , 180° < θ ≦ 188°
プレート連結 (特殊)	折れ角度151°	TP1	
	折れ角度159°	TP2	

※連絡の穴の位置が通常と異なる製品がありますのでご注意ください。

工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事 (2期工事)		
図 面 名	プレキャストガードレール基礎計画図(2)		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	1:200	図面番号	16 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

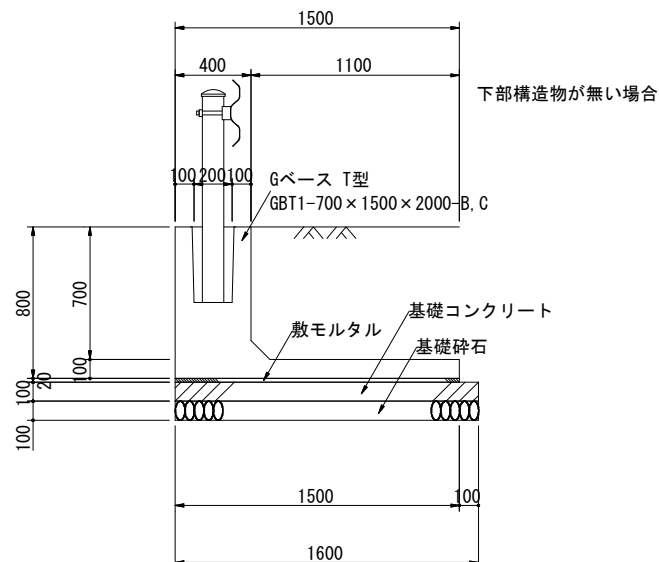
プレキャストガードレール基礎構造図

構造図
S=1:40

700 × 1500 × 2000-B, C

標準材料表		10m当り
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40	16.000 m ²
		1.600 m ³
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	1.600 m ³
基礎コンクリート型枠		2.000 m ²
敷モルタル	(1 : 3)	0.300 m ³
Gベース T型	GBT1-700×1500×2000-B, C	5 本

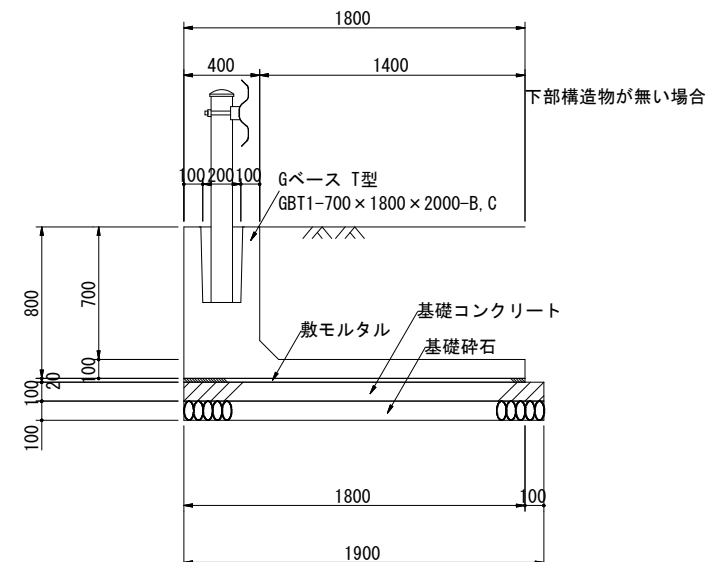
※基礎材の数量は下部構造物によって変わります。



700 × 1800 × 2000-B, C

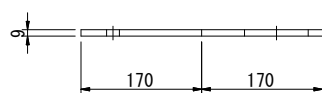
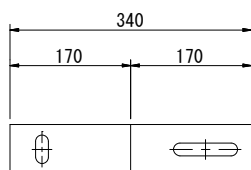
標準材料表		10m当り
名 称	規 格	数 量
基礎碎石	RC-40	19.000 m2
		1.900 m3
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	1.900 m3
基礎コンクリート型枠		2.000 m2
敷モルタル	(1 : 3)	0.360 m3
Gベース T型	GBT1-700×1800×2000-B, C	5 本

※基礎材の数量は下部構造物によって変わります。

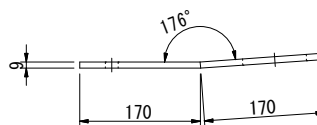
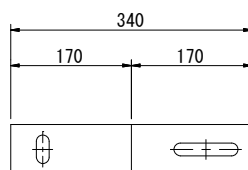


プレート 詳細図
S=1:8

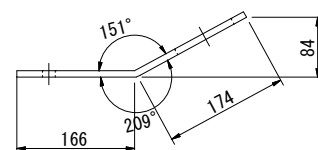
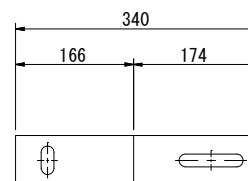
P 連結用プレート 340×70×9
ストレートタイプ



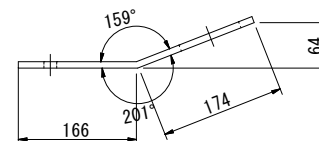
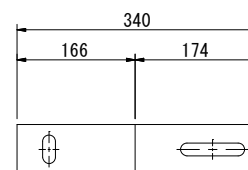
P6 連結用プレート 340×70×9
(折れ角度176°)



TP1 連結用プレート 340×70×9
(折れ角度151°)

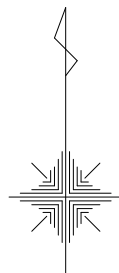
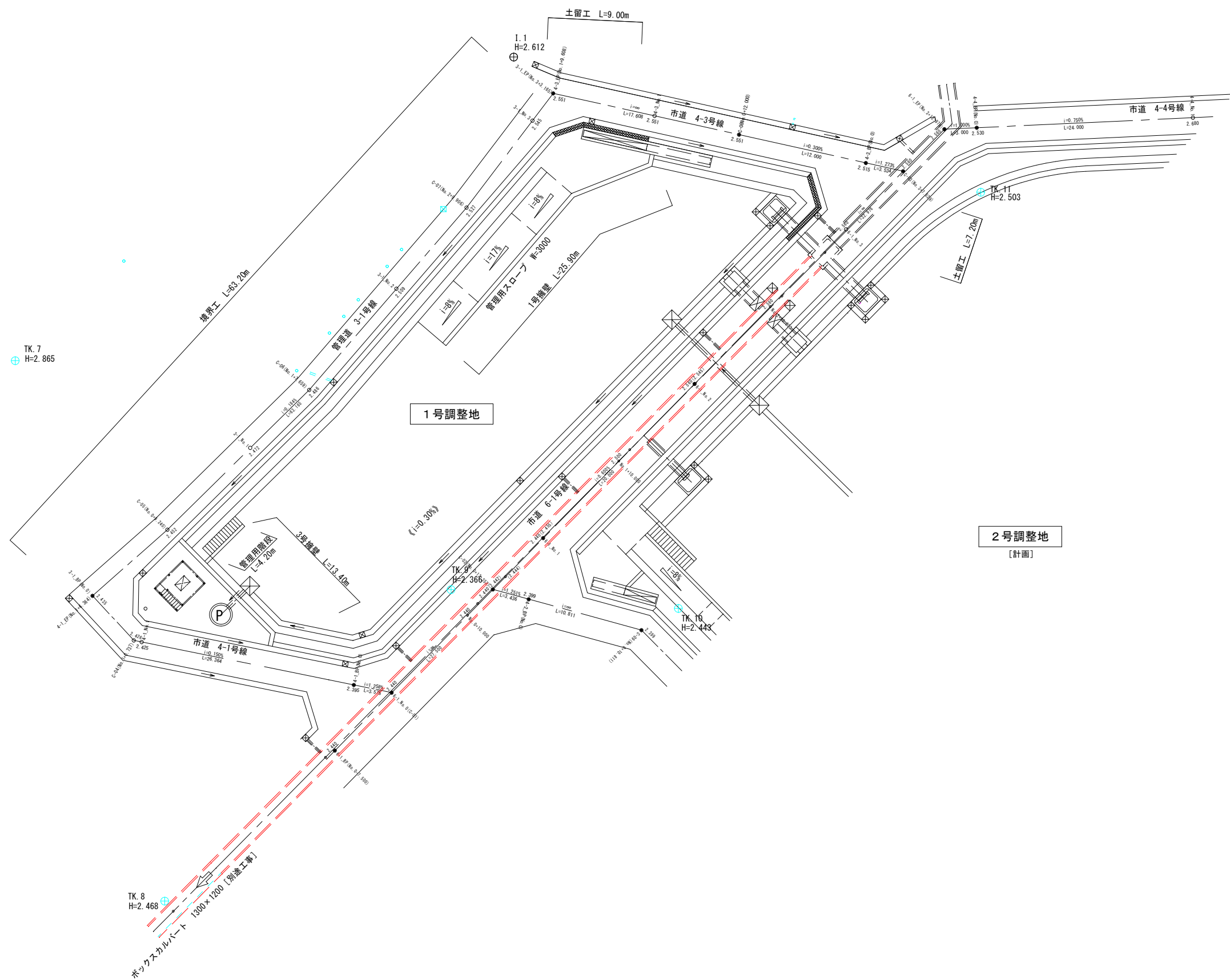


TP2 連結用プレート 340×70×9
(折れ角度159°)



工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）		
図 面 名	プレキャストガードレール基礎構造図		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図示	図面番号	17 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

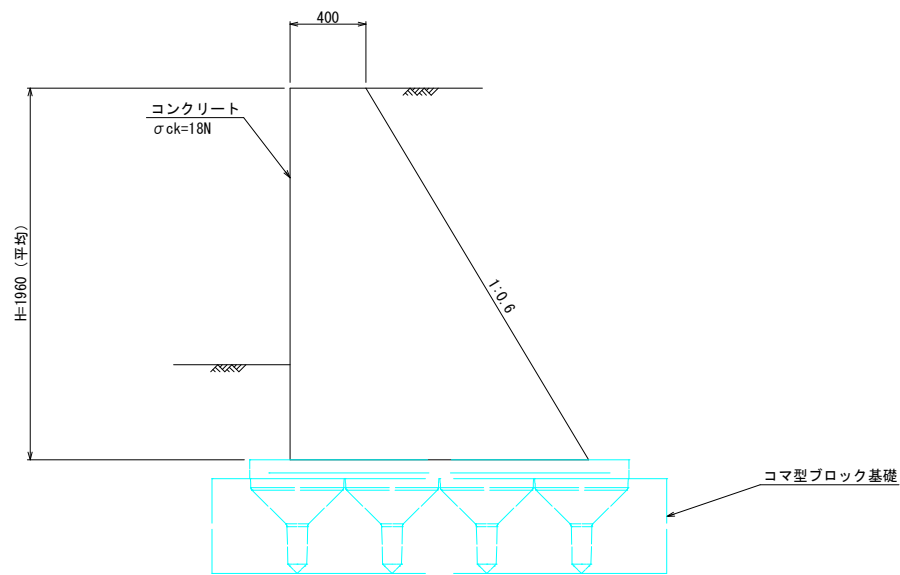
擁壁工計画平面図 S=1:200



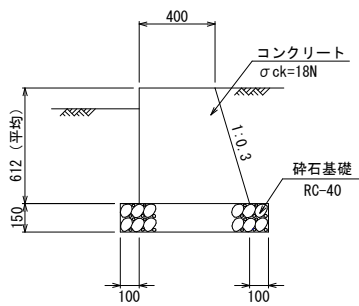
工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王隣接地整備工事（2期工事）		
図 面 名	擁壁工計画平面図		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	1:200	図面番号	18 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

擁壁構造図

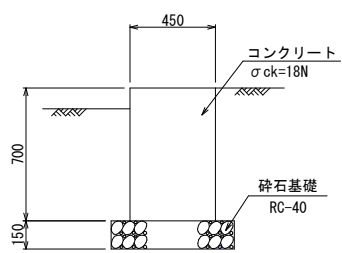
1号擁壁 S=1:20



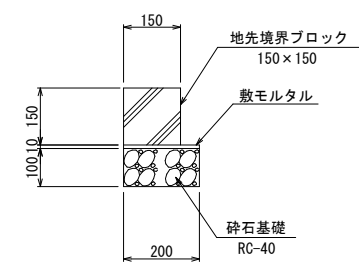
3号擁壁 S=1:20



土留工 S=1:20



境界工 S=1:10

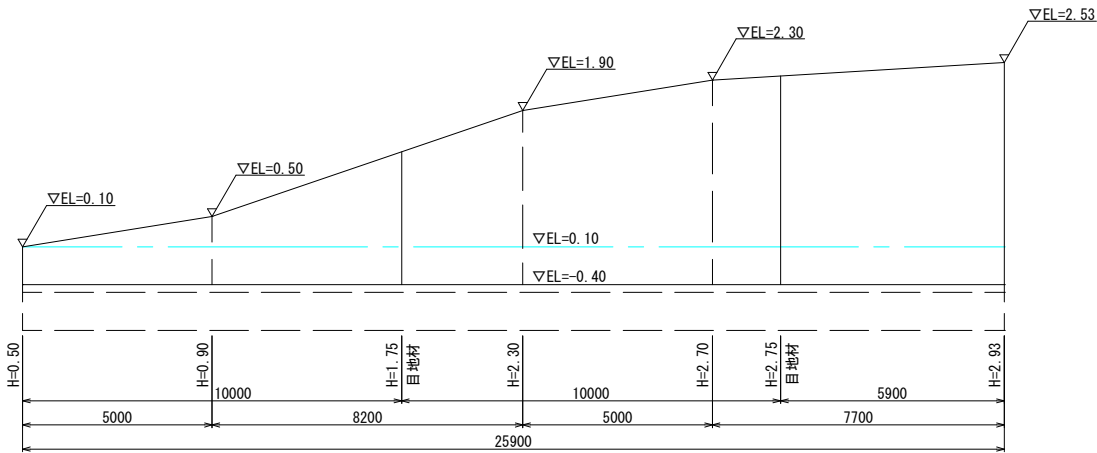


工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）			
図 面 名	擁壁構造図			
作成年月	令和 7 年 6 月			
縮 尺	図示	図面番号	19	／ 37
会 社 名				
事業者名	竹 原 市			

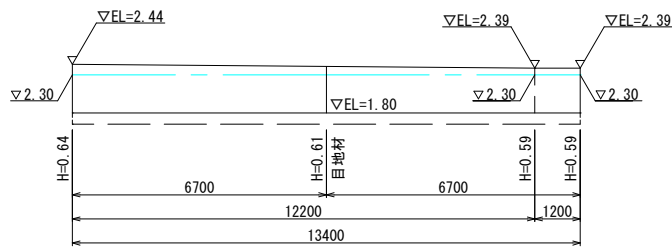
擁壁展開図

V=1:50
H=1:100

1号擁壁 展開図
(1号調整地 管理用スロープ路側)



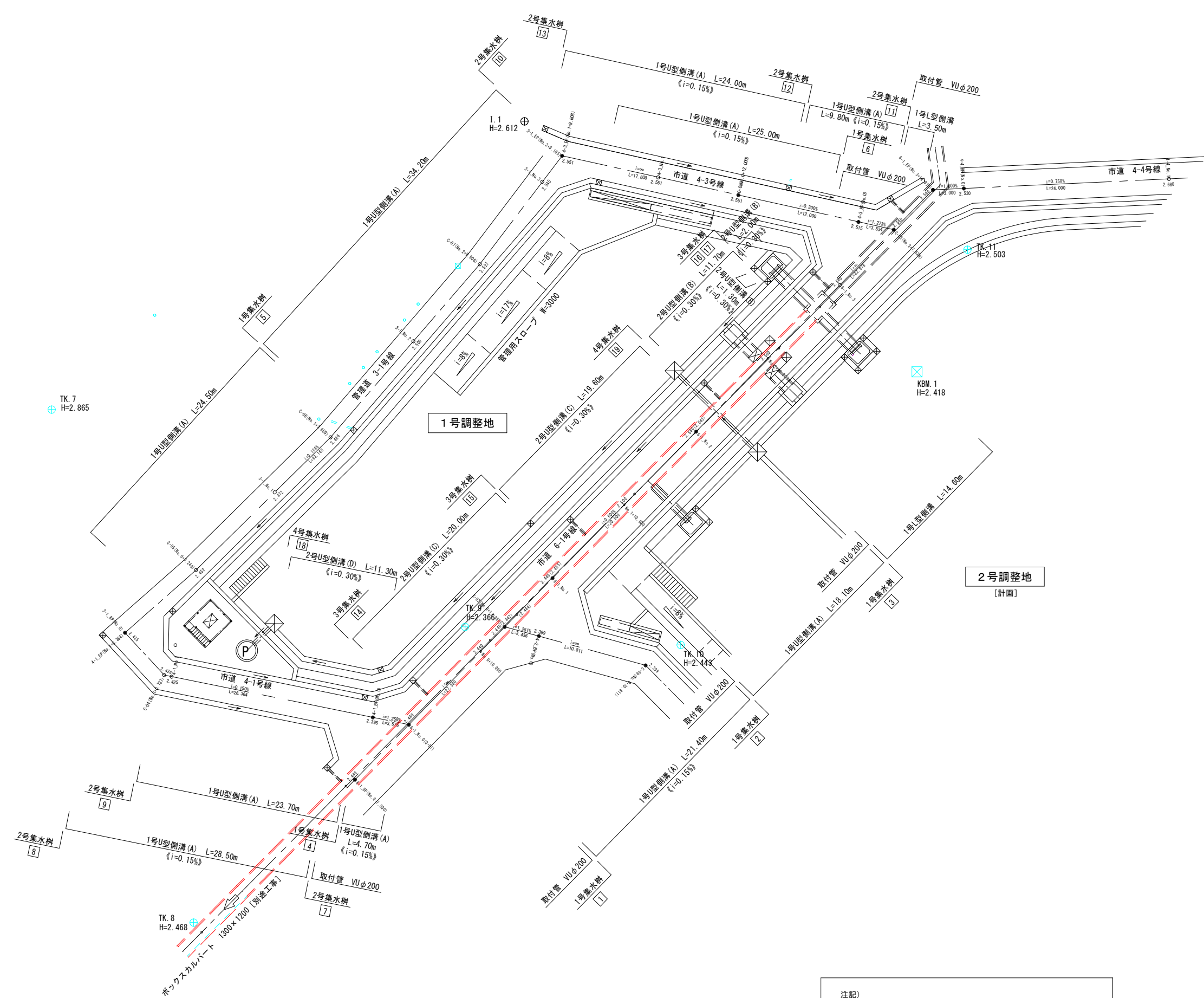
3号擁壁 展開図



※擁壁の延長は天端中心位置の延長を示す。

工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）			
図 面 名	擁壁展開図			
作成年月	令和 7 年 6 月			
縮 尺	図示	図面番号	20	／ 37
会 社 名				
事業者名	竹 原 市			

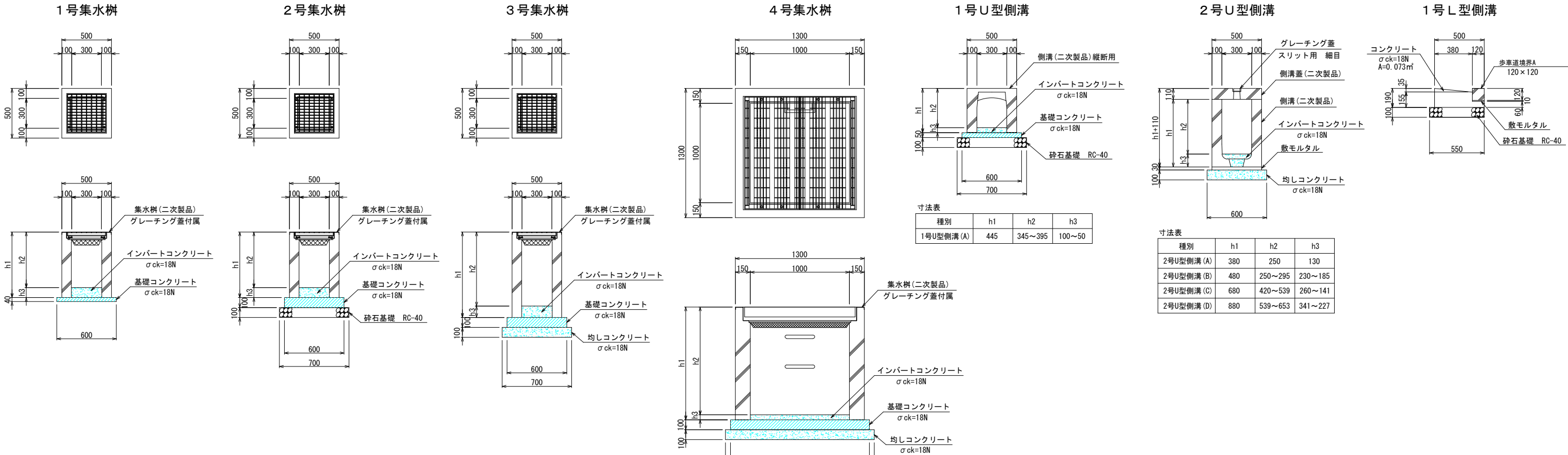
排水計画平面図 S=1:200



注記)
・特記無き場合の排水縦断勾配は、路面勾配に準ずるものとする。

工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）		
図 面 名	排水計画平面図		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	1:200	図面番号	21 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

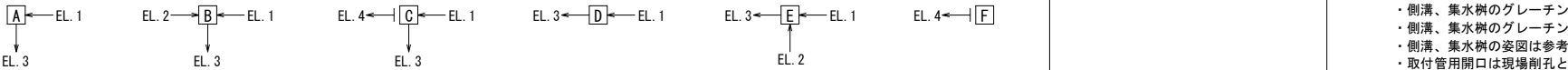
排水工構造図 S=1:20



集水樹寸法表

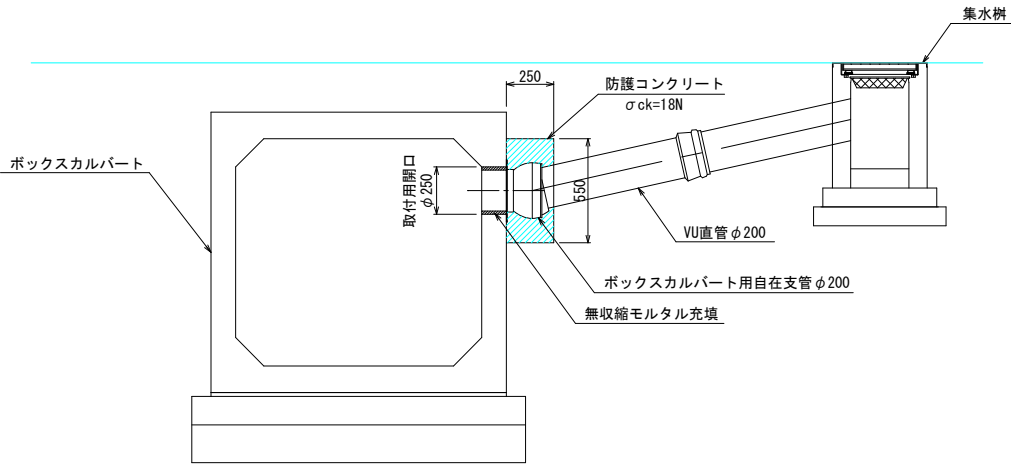
種 別	樹番号	形式		流 入				流 出		起点流出		寸 法		
			GL	EL. 1	摘要	EL. 2	摘要	EL. 3	摘要	EL. 4	摘要	h1	h2	h3
1号集水樹	1	B	2. 403	2. 053	1号U型側溝 (A)	2. 017	1号U型側溝 (A)	2. 017	VUφ200 取付	—	—	660	560	100
	2	C	2. 436	2. 088	1号U型側溝 (A)	—	—	1. 878	VUφ200 取付	2. 085	1号U型側溝 (A)	660	560	100
	3	C	2. 517	—	1号L型側溝	—	—	1. 957	VUφ200 取付	2. 167	1号U型側溝 (A)	660	560	100
	4	D	2. 374	2. 024	1号U型側溝 (A)	—	—	2. 024	1号U型側溝 (A)	—	—	660	560	100
	5	E	2. 475	2. 125	1号U型側溝 (A)	2. 270	φ50 既設	2. 125	1号U型側溝 (A)	—	—	660	560	100
	6	C	2. 523	2. 142	1号U型側溝 (A)	—	—	1. 963	VUφ200 取付	—	1号L型側溝	660	560	100
2号集水樹	7	A	2. 403	2. 020	1号U型側溝 (A)	—	—	1. 843	VUφ200 取付	—	—	660	560	100
	8	F	2. 413	—	—	—	—	—	—	2. 063	1号U型側溝 (A)	660	560	100
	9	D	2. 425	2. 075	1号U型側溝 (A)	—	—	2. 075	1号U型側溝 (A)	—	—	660	560	100
	10	F	2. 529	—	—	—	—	—	—	2. 179	1号U型側溝 (A)	660	560	100
	11	B	2. 528	—	1号L型側溝	2. 133	1号U型側溝 (A)	1. 968	VUφ200 取付	—	—	660	560	100
	12	E	2. 515	2. 148	1号U型側溝 (A)	2. 210	φ100 既設	2. 148	1号U型側溝 (A)	—	—	660	560	100
	13	F	2. 529	—	—	—	—	—	—	2. 184	1号U型側溝 (A)	660	560	100
3号集水樹 (A)	14	D	0. 000	-0. 649	2号U型側溝 (C)	—	—	-0. 649	2号U型側溝 (D)	—	—	860	799	61
	15	D	0. 000	-0. 589	2号U型側溝 (C)	—	—	-0. 589	2号U型側溝 (C)	—	—	860	739	121
3号集水樹 (B)	16	D	0. 000	-0. 370	2号U型側溝 (B)	—	—	-0. 370	2号U型側溝 (B)	—	—	660	520	140
	17	D	0. 000	-0. 366	2号U型側溝 (B)	—	—	-0. 366	2号U型側溝 (B)	—	—	660	516	144
4号集水樹	18	A	0. 080	-0. 683	2号U型側溝 (B)	—	—	-0. 693	VUφ400	—	—	1135	1085	50
	19	E	0. 000	-0. 405	2号U型側溝 (D)	-0. 523	VUφ400 計画	-0. 530	2号U型側溝 (C)	—	—	1135	830	305

形式区分



※1 各「EL」は、流入、流出計画高を示す。
※2 符号無き「EL」は、TP±0.000以上を示す

取付管VUφ200（参考図）

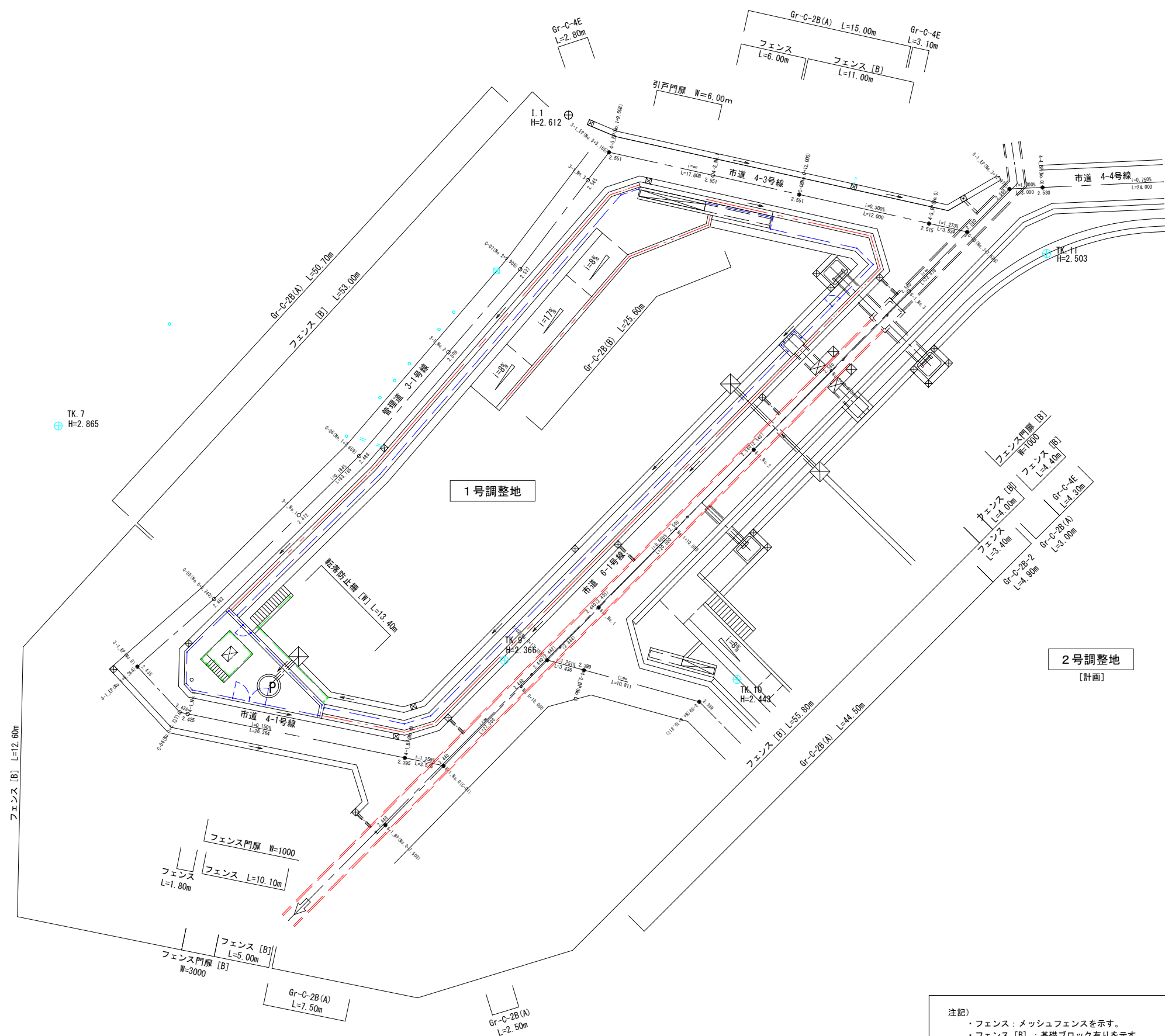


注記

- 側溝、集水樹のグレーチングはボルト固定とする。
- 側溝、集水樹のグレーチング目幅は細目とする。ただし、製品に細目仕様がなない場合は協議とする。
- 側溝、集水樹の姿図は参考とする。
- 取付管用開口は現場削孔とする。
- 取付管用開口位置は、ボックスカルバートのハンチ部を避ける位置とすること。
- 取付管用開口位置は、ボックスカルバート本体長さの中央付近とすること。

工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）		
図 面 名	排水工構造図		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	1:20	図面番号	22 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

防護柵計画平面図 S=1:200



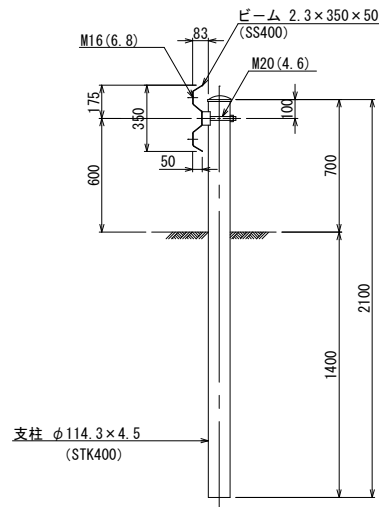
注記)
・フェンス：メッシュフェンスを示す。
・フェンス [B]：基礎ブロック有りを示す。
・フェンス門扉 [B]：基礎コンクリート有りを示す。
・転落防止柵 [W]：コンクリート建て込みを示す。

工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）		
図 面 名	防護柵計画平面図		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	1:200	図面番号	23 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

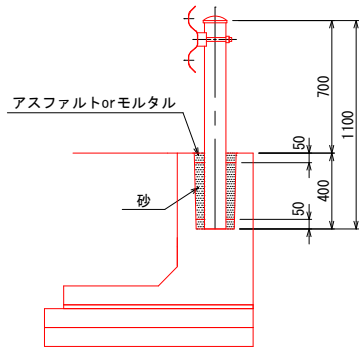
【図面縮尺は表示の50%とする】

防護柵構造図 S=1:20
(ガードレール)

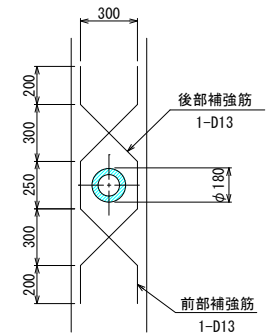
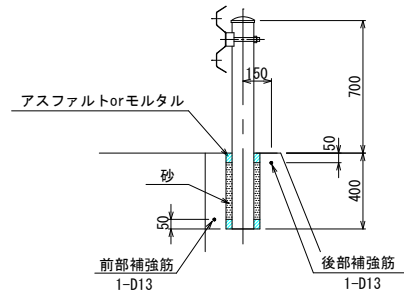
土中用 Gr-C-4E



構造物用 Gr-C-2B(A)
(プレキャストガードレール基礎部)

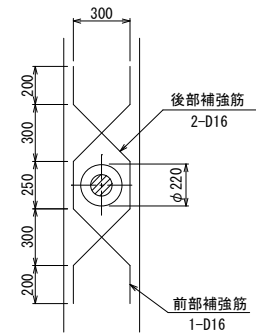
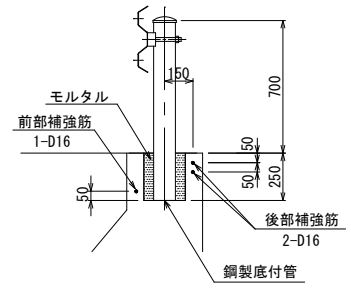


構造物用 Gr-C-2B(B)
(場所打ち基礎部)



※補強筋はSD295A

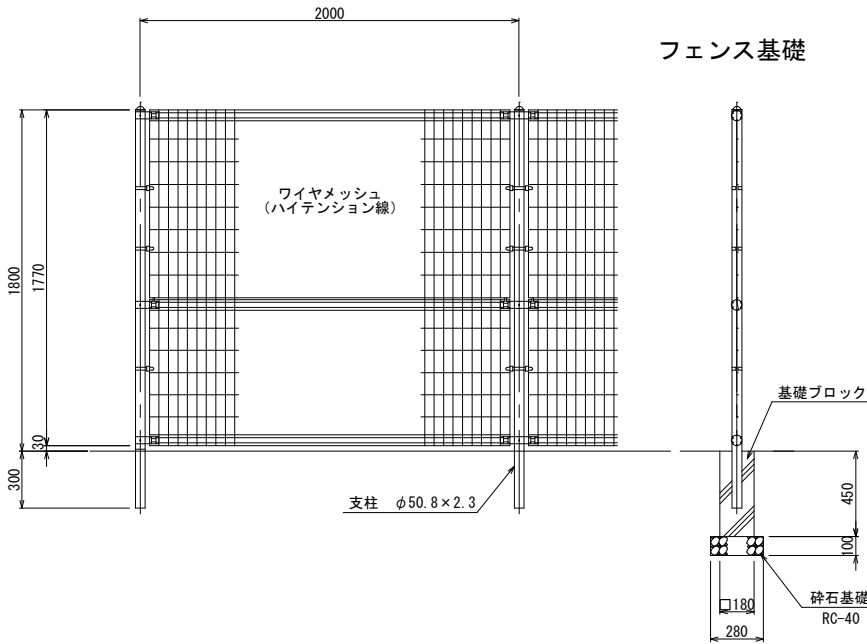
構造物用 Gr-C-2B-2
(流入固定堰路側擁壁部)



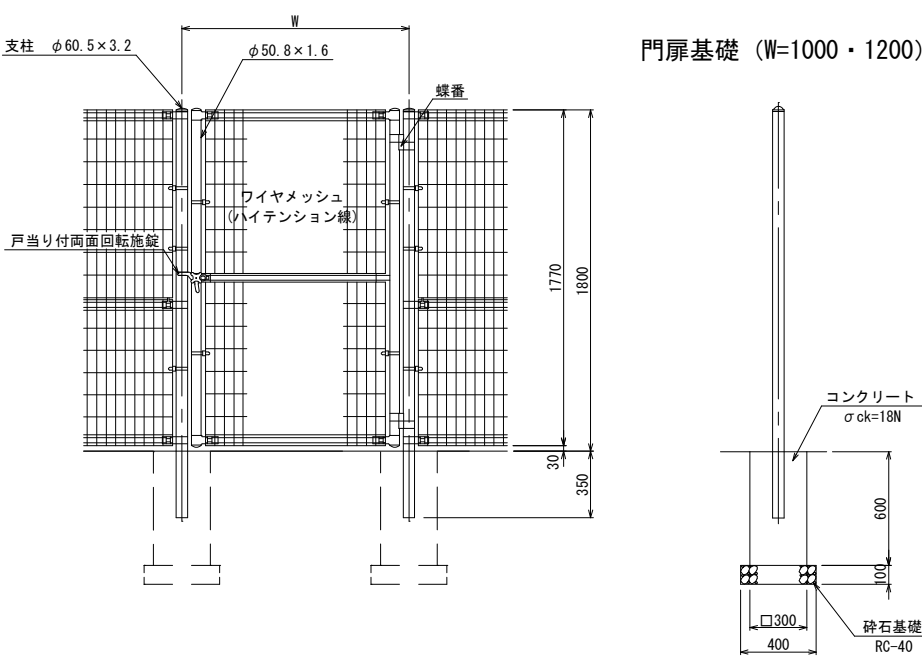
※補強筋はSD295A

工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事 (2期工事)		
図 面 名	防護柵構造図		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	1:20	図面番号	24 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

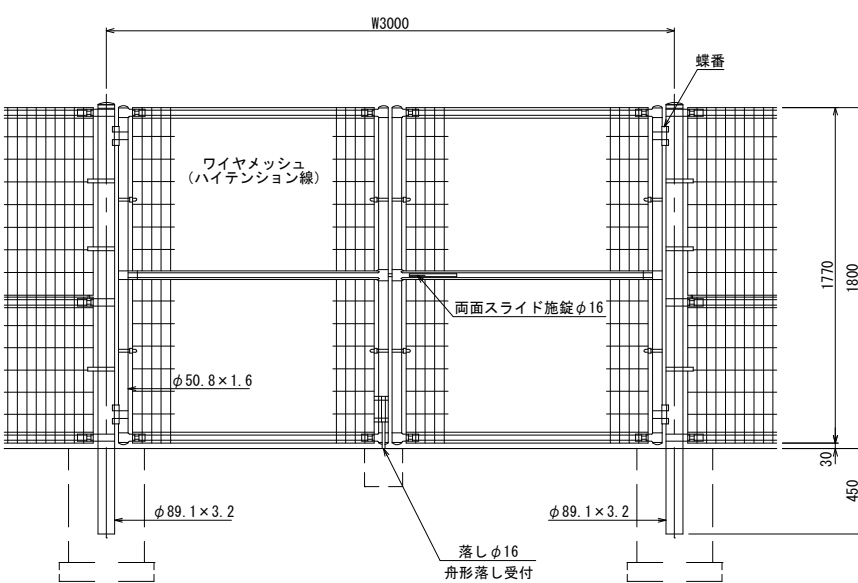
メッシュフェンス H1800



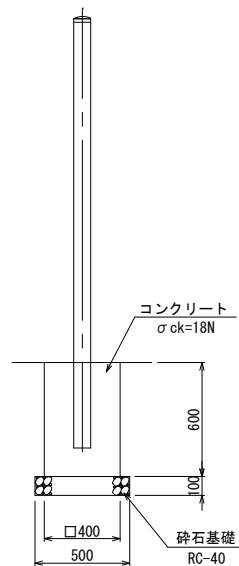
メッシュフェンス門扉 W=1000・1200（片開き）



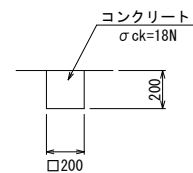
メッシュフェンス門扉 W=3000（両開き）



門扉基礎（W=3000）



落とし受基礎



注記

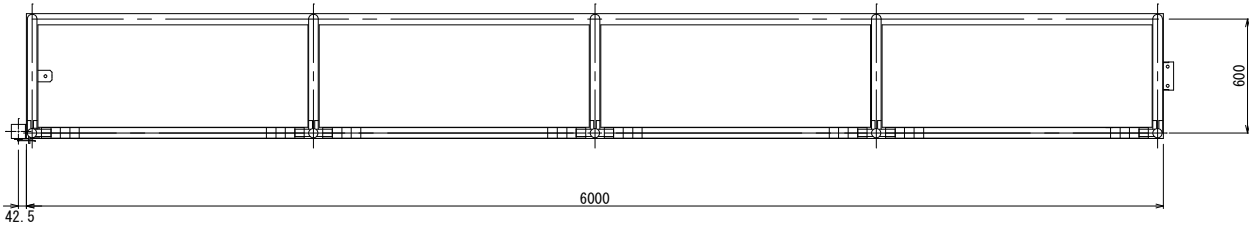
- ・メッシュフェンス（開き門扉・引き戸門扉を含む）の設計荷重は昭和57年改正の建築基準法・同施行例に基づく風圧力に依る。
- ・フェンス開き門扉は施錠型とする。
- ・メッシュフェンス、開き門扉等の姿図は参考とする。

工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）		
図 面 名	メッシュフェンス構造図		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	1:20	図面番号	25 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

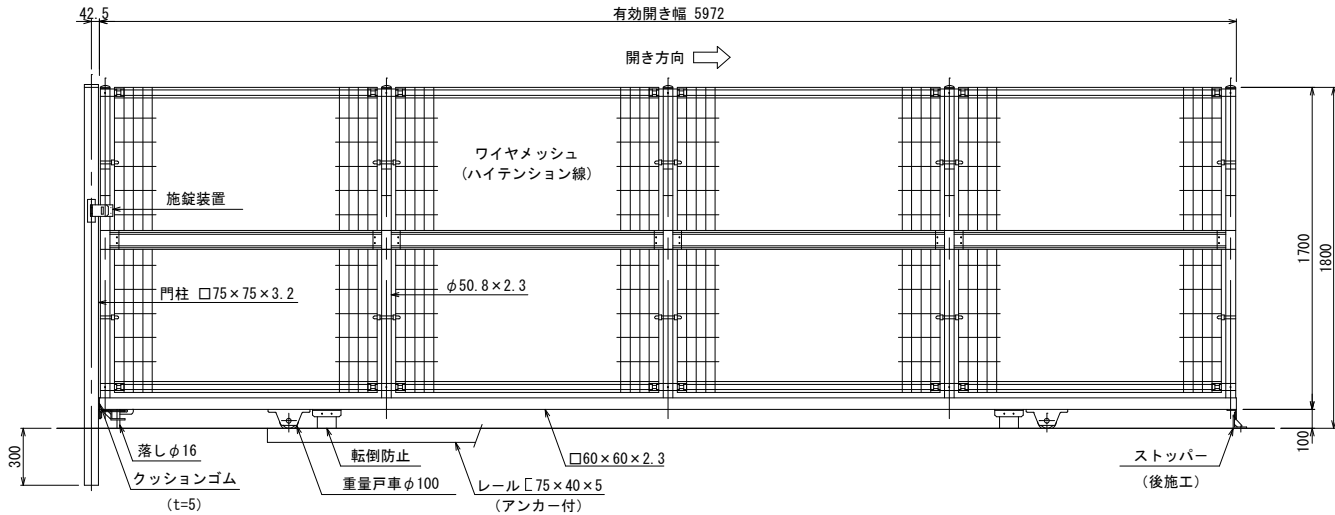
引戸門扉構造図 S=1:20

引戸門扉 W=6000

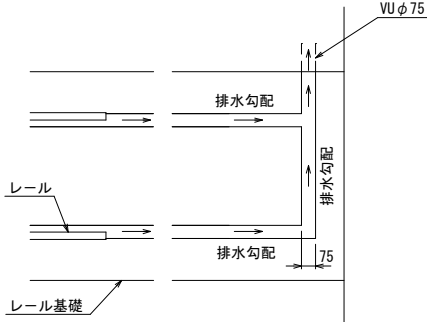
平面図



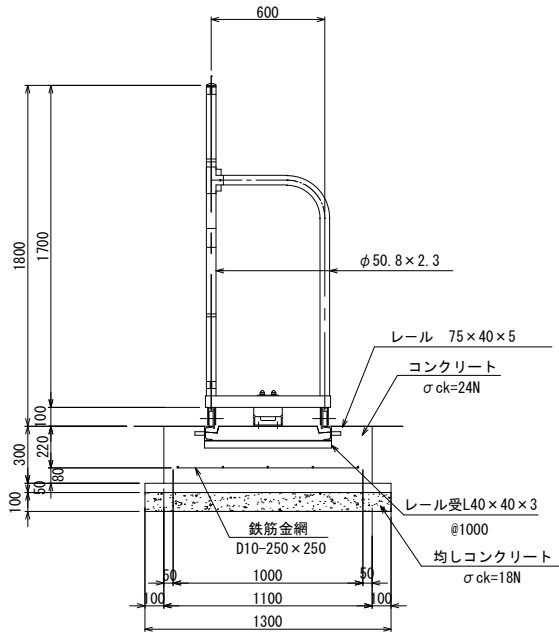
正面図



レール基礎端部平面図



断面図



※鉄筋金網はSD295とする。

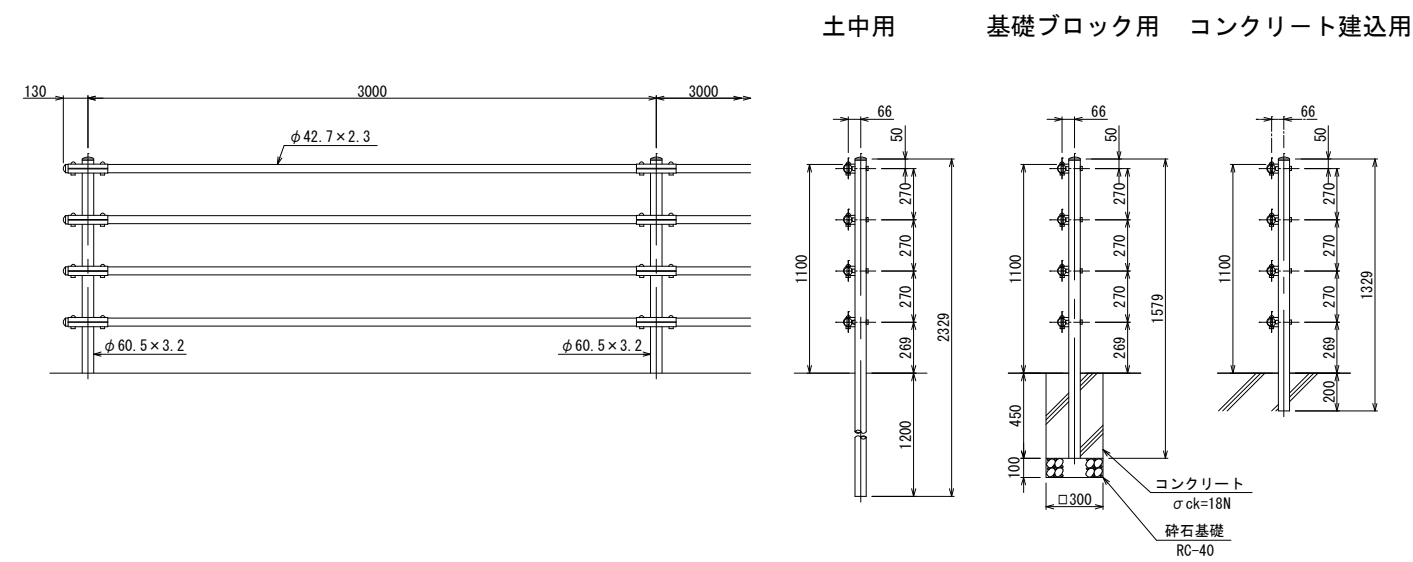
注記)

- メッシュフェンス（開き門扉・引き戸門扉を含む）の設計荷重は昭和57年改正の建築基準法・同施行例に基づく風圧力に依る。
- フェンス引き戸門扉は施錠型とする。
- メッシュフェンス引き戸門扉等の姿図は参考とする。

工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）		
図 面 名	引戸門扉構造図		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	1:20	図面番号	26 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

安全柵構造図 S=1:20

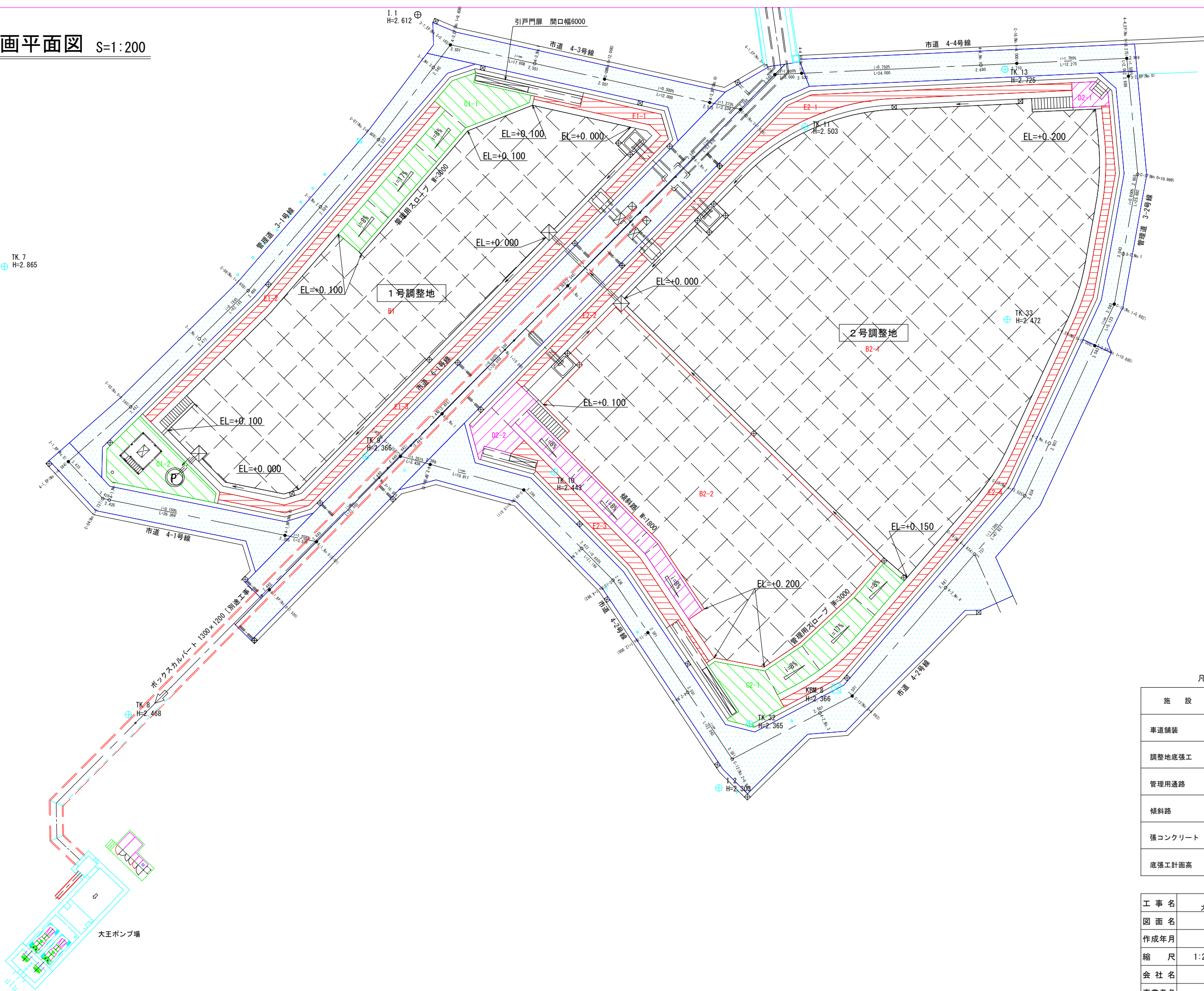
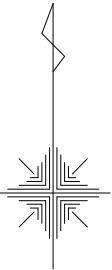
転落防止柵
(ガードパイプ)



注記)
・設計荷重は、防護柵の設置基準・同解説のP種の荷重に依る
・本体の塗装の仕様、および色は協議とする。
・転落防止柵の姿図は参考とする。

工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）		
図 面 名	安全柵構造図		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	1:20	図面番号	27 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

舗装計画平面図 S=1:200

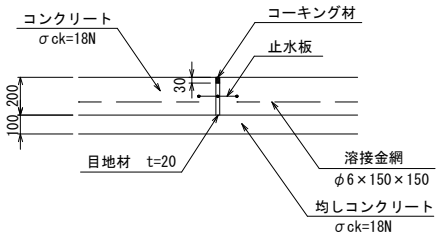


凡 例	
施 設	記 号
車道舗装	
調整地底張工	
管理用通路	
傾斜路	
張コンクリート	
底張工計画高	EL=+0.000

工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）		
図 面 名	舗装計画平面図		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	1:200	図面番号	28 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

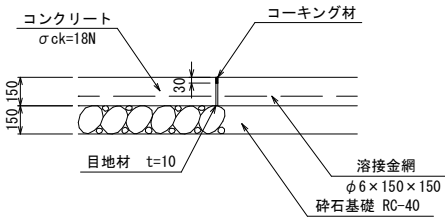
舗装工構造図 S=1:20

調整地底張工



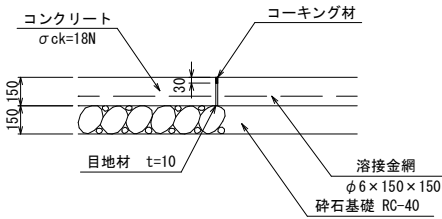
- 注記)
- 目地材の設置間隔は、縦横5mを目安とする。
 - 他の構造物との境界部には目地材を設置すること。
 - 目地材は発泡樹脂系（発泡倍率15倍以下）、厚さ20mmとする。
 - コーキング材は変成シリコン系とする。
 - 止水板は塩ビ製、センターバルブ型とする。
 - 止水板は厚さ5mm以上、幅200mm以上とする。

ポンプ用地



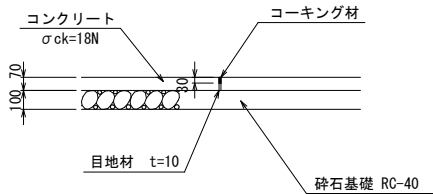
- 注記)
- 目地材の設置間隔は、縦横5mを目安とする。
 - 他の構造物との境界部には目地材を設置すること。
 - 目地材は発泡樹脂系（発泡倍率15倍以下）、厚さ10mmとする。
 - コーキング材は変成シリコン系とする。

管理用通路



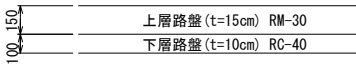
- 注記)
- 目地材の設置間隔は、5mを目安とする。
 - 他の構造物との境界部には目地材を設置すること。
 - 目地材は発泡樹脂系（発泡倍率15倍以下）、厚さ10mmとする。
 - コーキング材は変成シリコン系とする。

張コンクリート

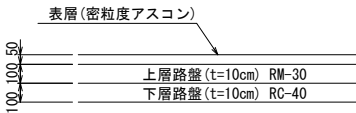


- 注記)
- 目地材の設置間隔は、5mを目安とする。
 - 他の構造物との境界部には目地材を設置すること。
 - 目地材は発泡樹脂系（発泡倍率15倍以下）、厚さ10mmとする。
 - コーキング材は変成シリコン系とする。

車道舗装工（今回）



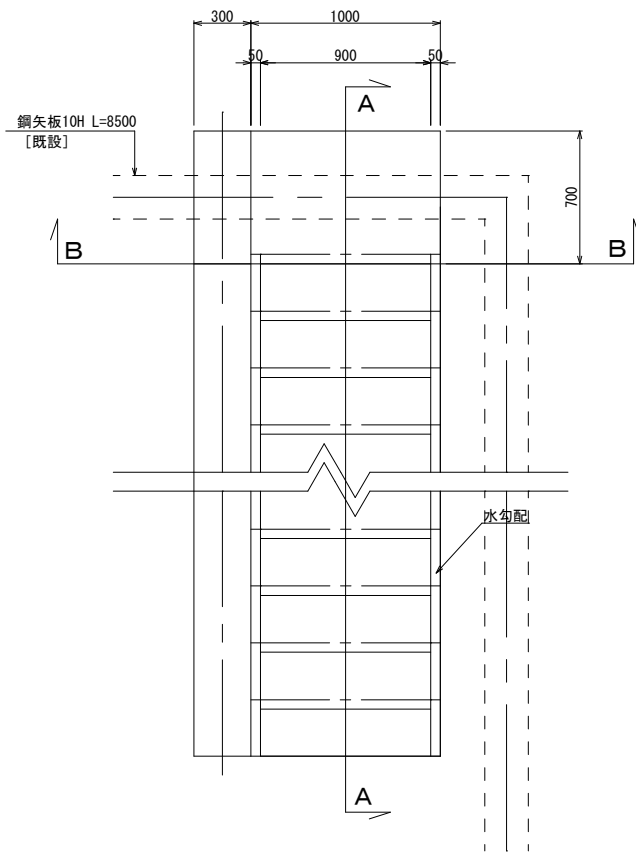
車道舗装工（計画）



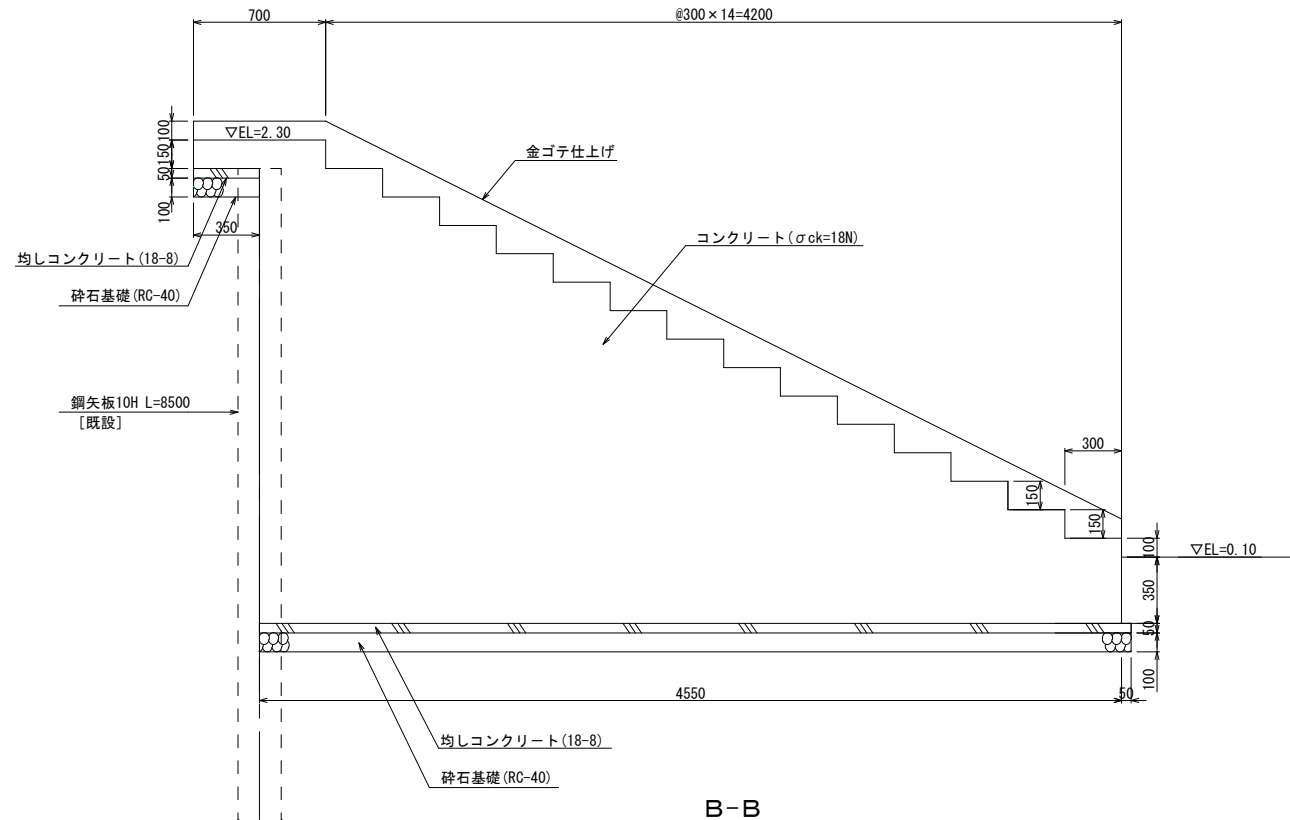
工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）			
図 面 名	舗装工構造図			
作成年月	令和 7 年 6 月			
縮 尺	1:20	図面番号	29	／ 37
会 社 名				
事業者名	竹 原 市			

管理用階段構造図 S=1:20

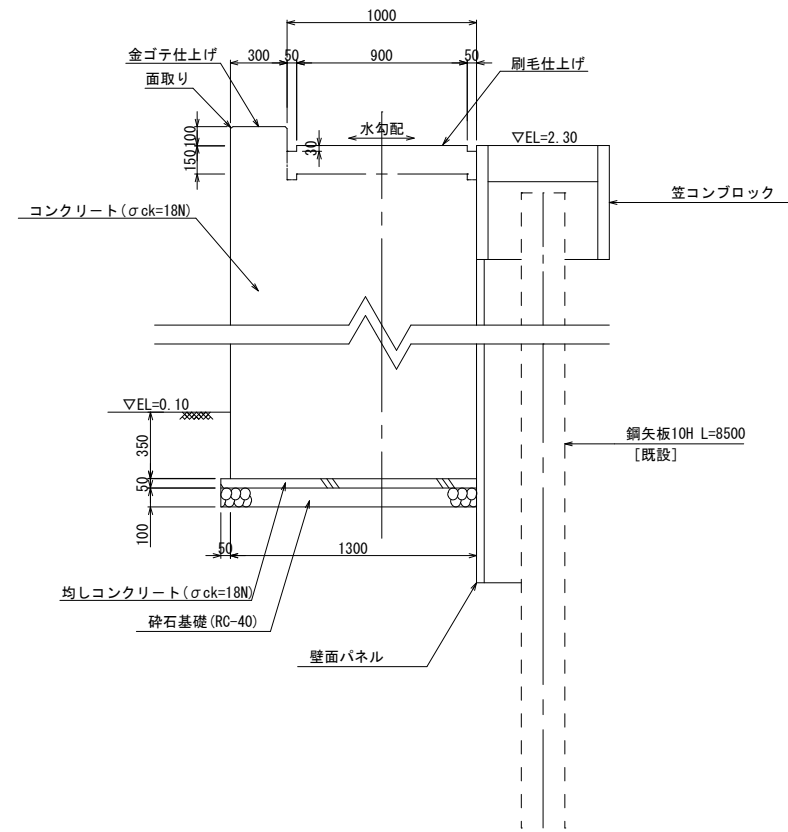
平面図
W=1000 14段



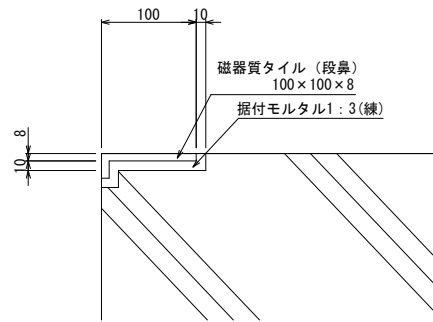
A-A
断面図



B-B
断面図



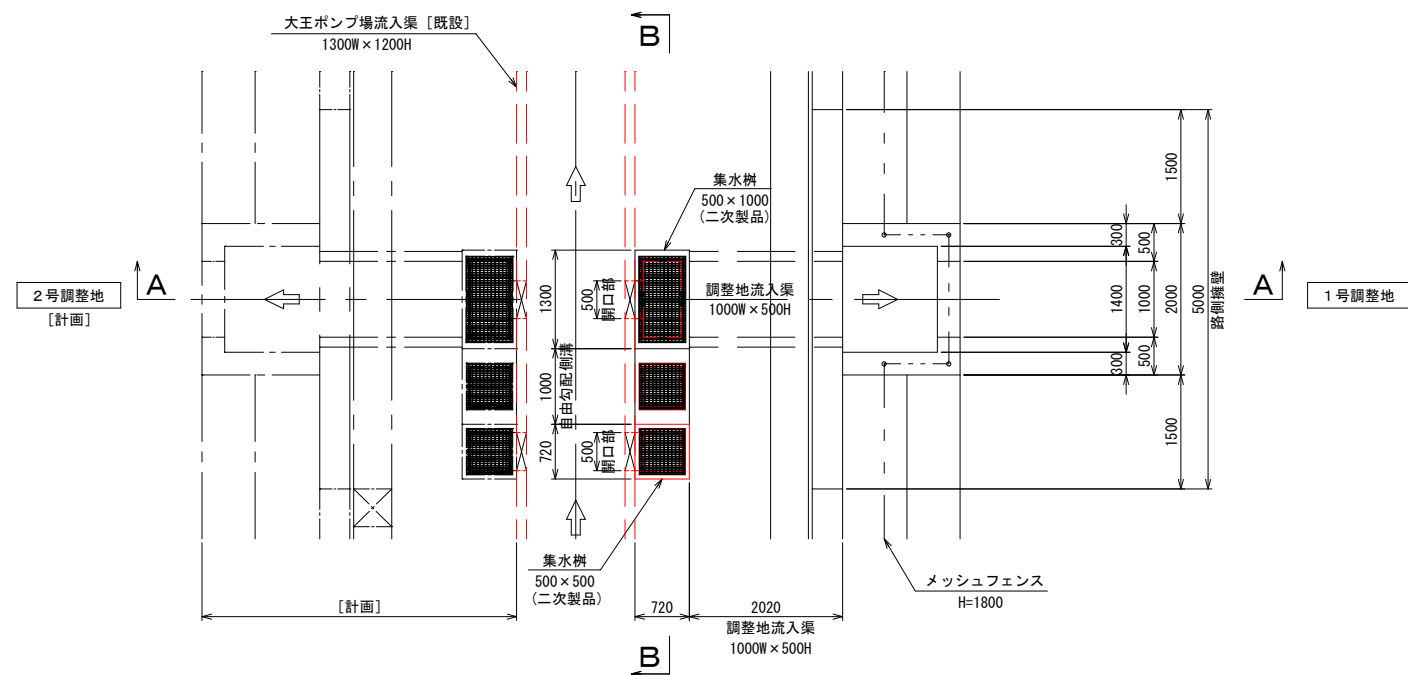
階段段鼻部 S=1/5



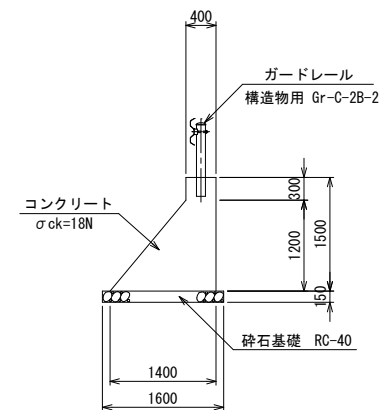
工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事 (2期工事)			
図 面 名	管理用階段構造図			
作成年月	令和 7 年 6 月			
縮 尺	図示	図面番号	30	/ 37
会 社 名				
事業者名	竹 原 市			

S=1 : 50

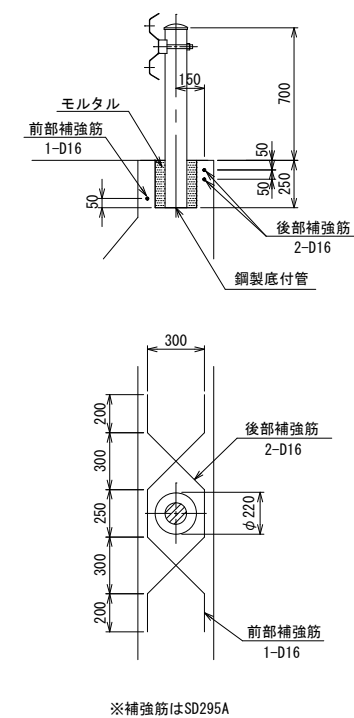
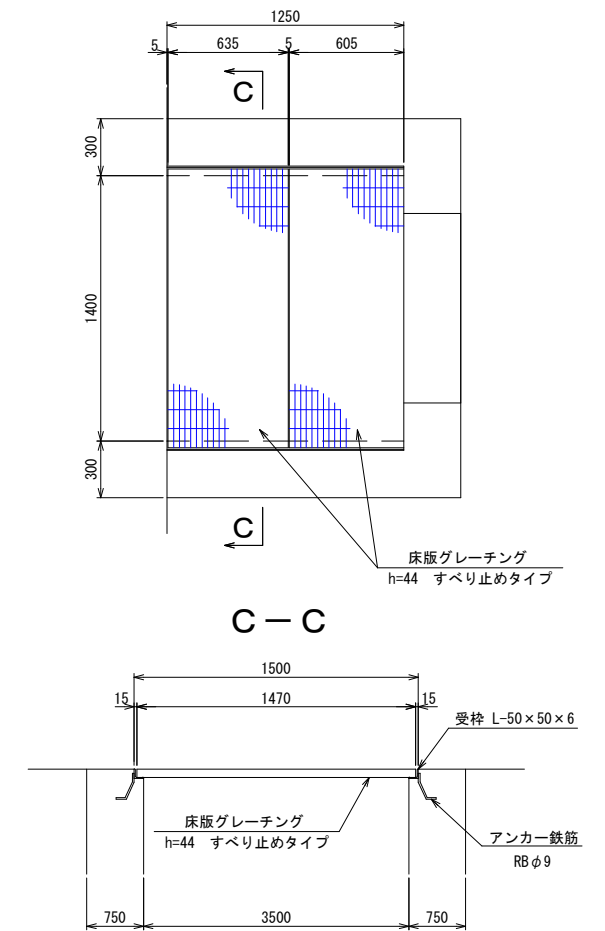
平面图



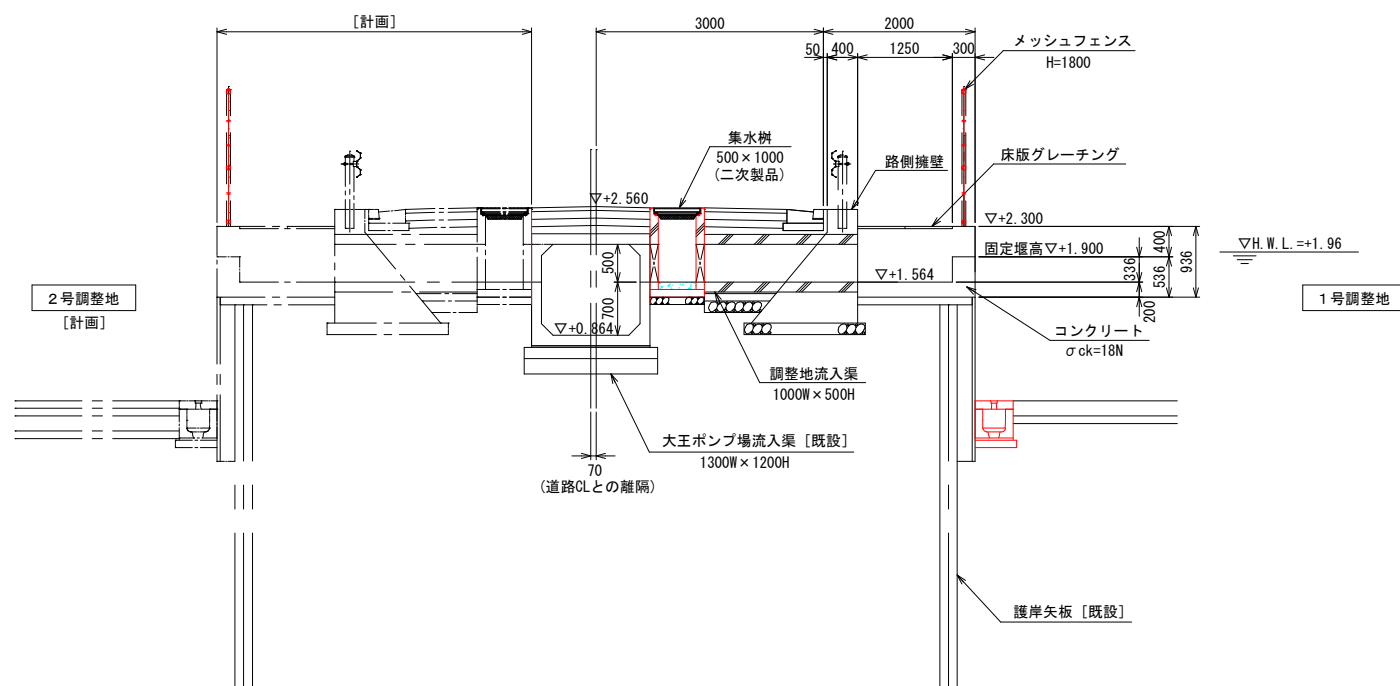
路側擁壁構造図



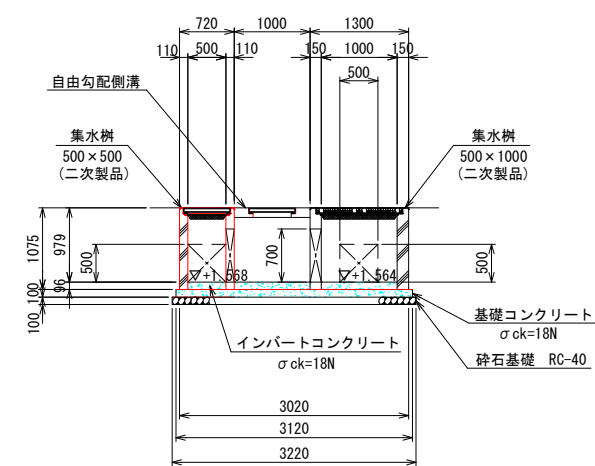
ガードレール基礎部 S=1:20

 $\lambda = 1:20$ 

A – A



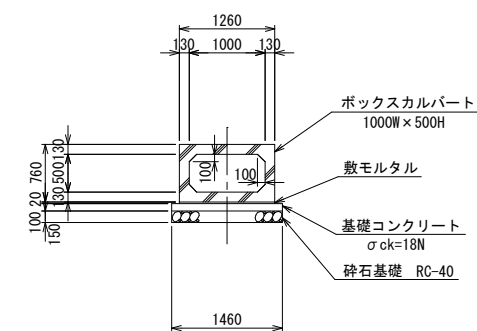
B - B



注記)

- ・側溝、集水樹のグレーチングはボルト固定とする。
- ・側溝、集水樹、ボックスカルバートの姿図は参考とする。

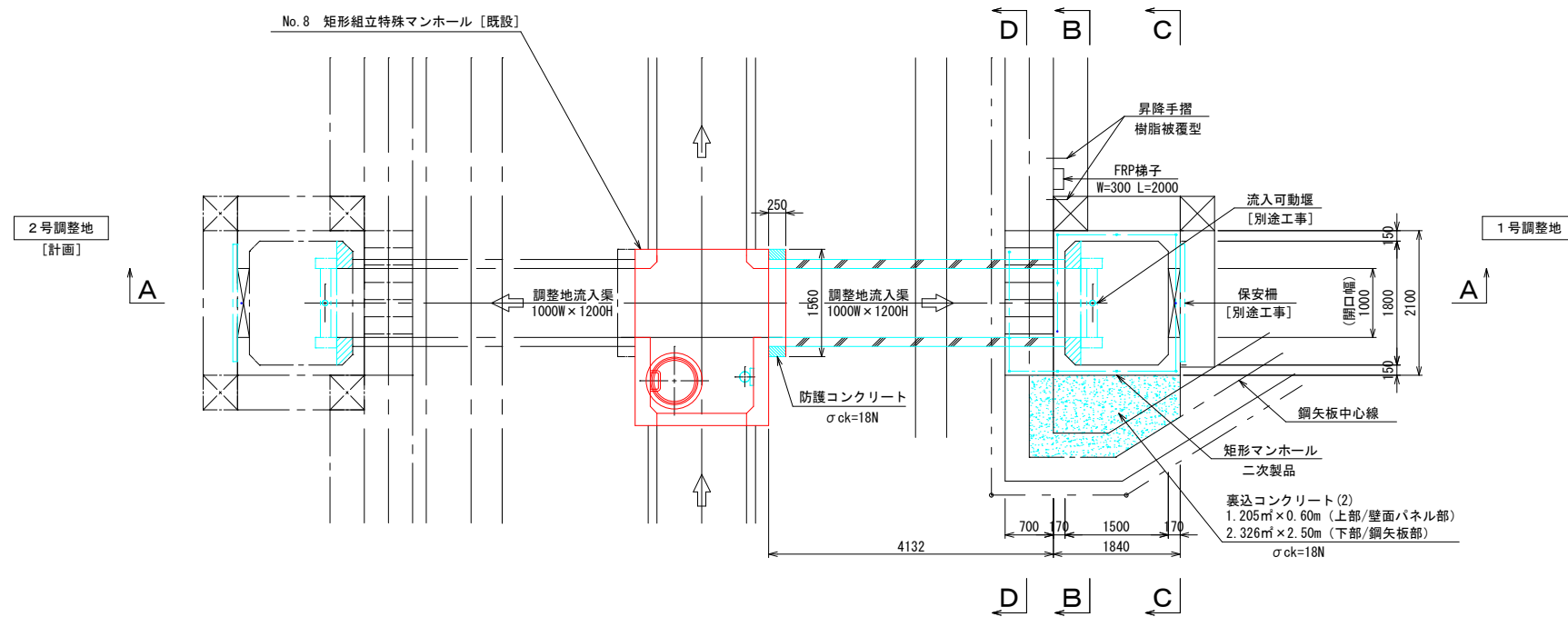
調整地流入渠構造図



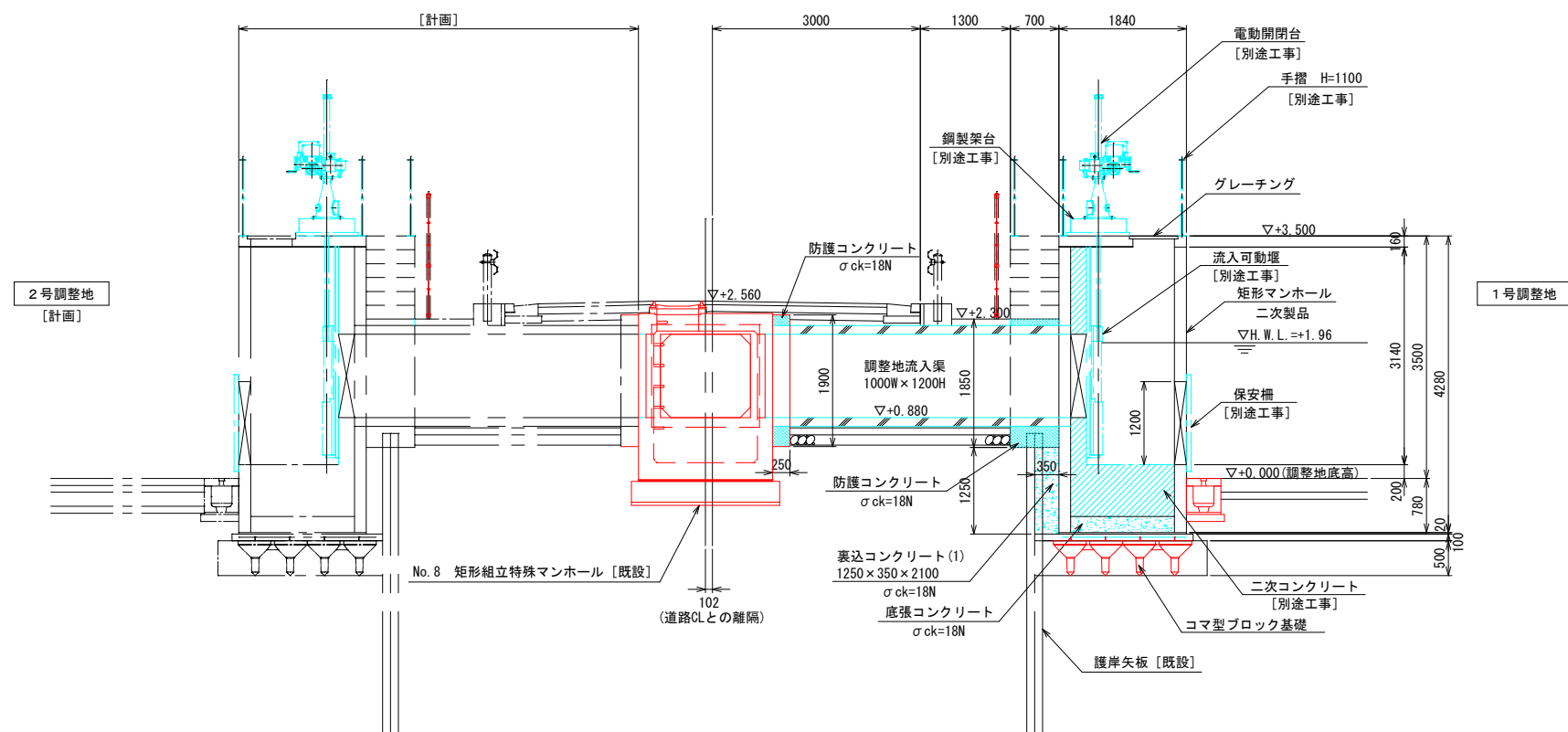
工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）		
図 面 名	流入固定堰構造図		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図示	図面番号	31 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

流入可動堰構造図(1) S=1:50

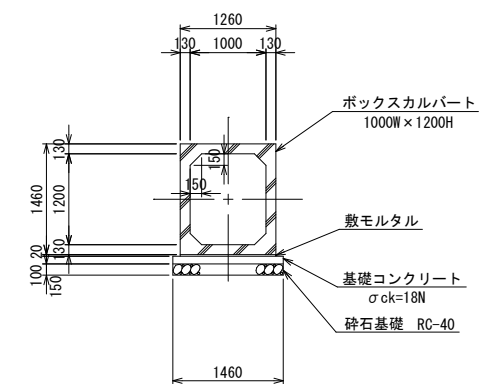
平面図



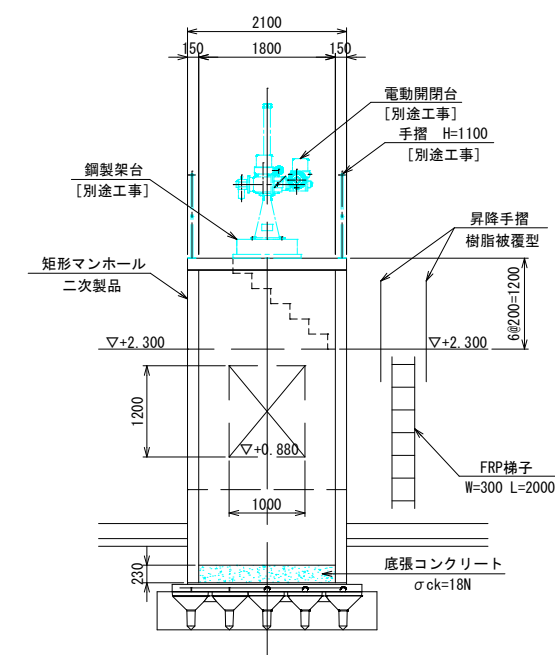
A — A



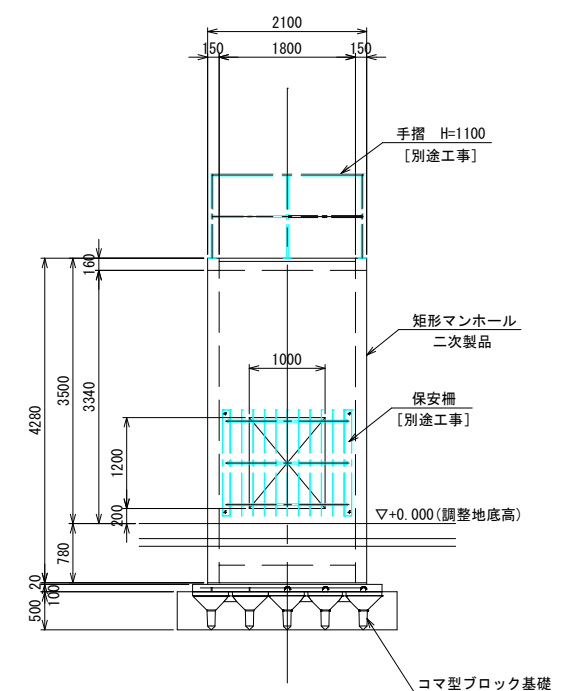
調整地流入渠構造図



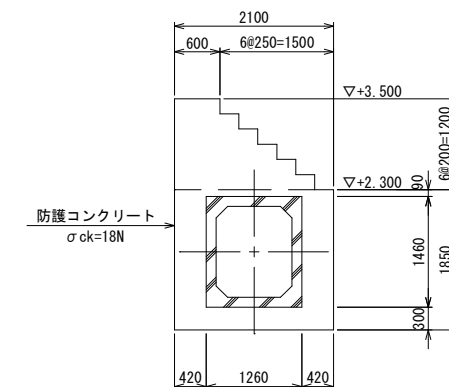
B – B



C — C



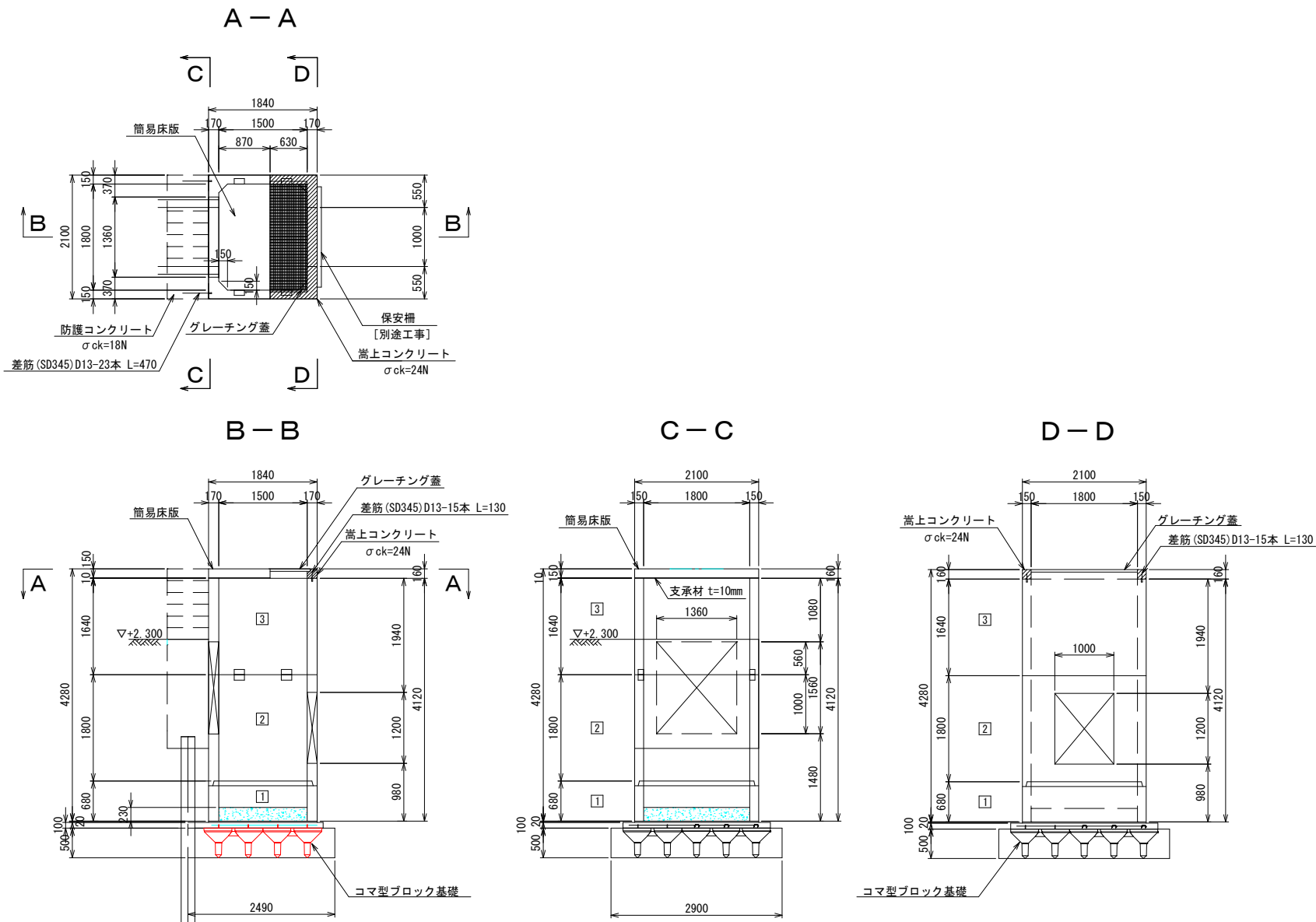
D - D



工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事（2期工事）		
図 面 名	流入可動堰構造図（1）		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	1:50	図面番号	32 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

流入可動堰構造図(2) S=1:50

矩形マンホール(ボックスカルバート)割付図 [参考図]



ボックスカルバート数量表

名 称	規 格	番 号	数 量
ボックスカルバート (B)1800×(H)1500 T-25	L0 = 680 LM = 1800 開口1000×1200 開口1360×1560/2 差筋付 LM0 = 1640 開口1360×1560/2 差筋付	1 2 3	1本 1本 1本
合 計			3本

L0：凸残しの平面斜切及び短切 LM：凹残しの平面斜切及び短切 LM0：凹凸無しの平面斜切及び短切
※差筋はボックスカルバート付属 (@250) とする。

床版数量表

名 称	規 格	数 量
簡 易 床 版	(L)2100×(B)1040×(t)150 開口φ114	1枚

※グレーチング蓋は簡易床版付属とする。

支承材材料表

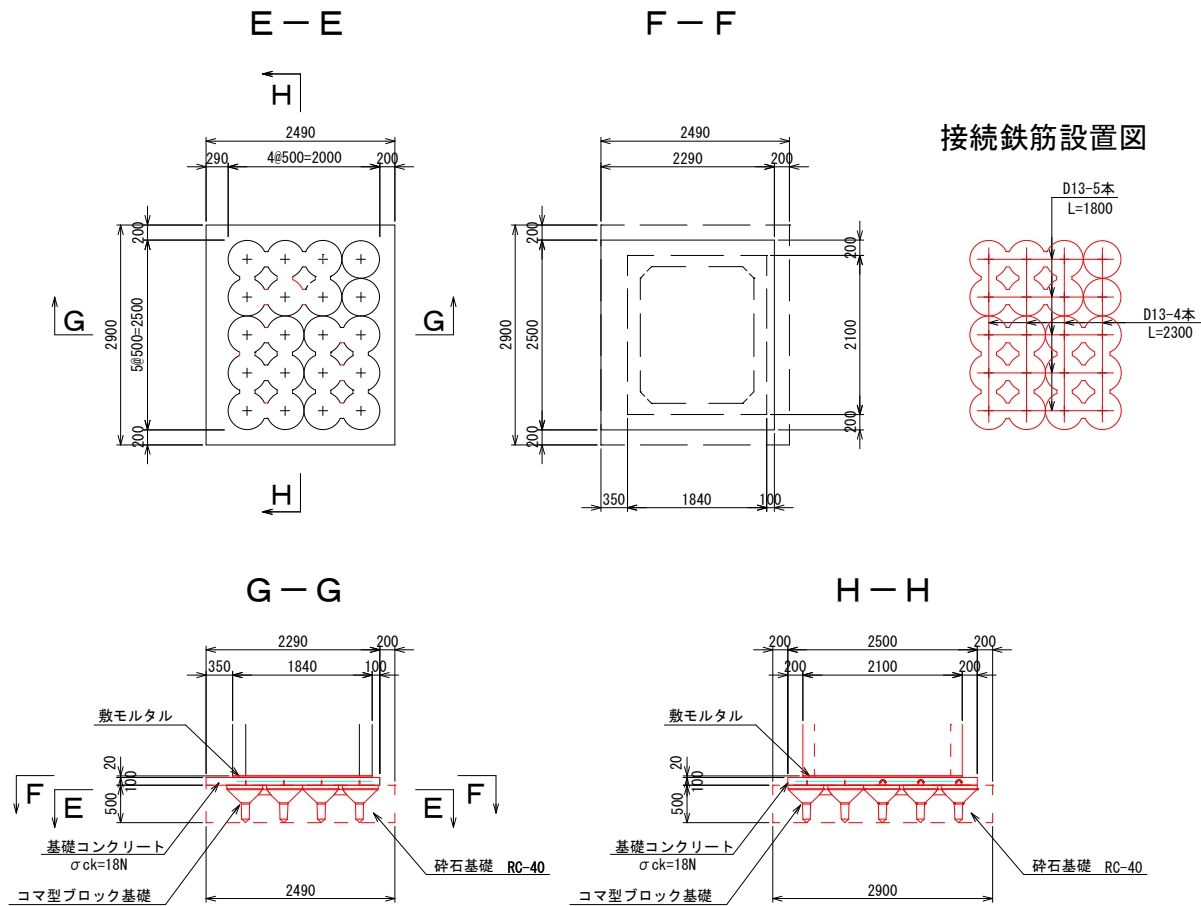
名 称	規 格	算 式	数 量
支 承 材	B=150 t=10mm B=170 t=10mm	1.040×2 1.800×1	2.080 m 1.800 m

嵩上コンクリート数量表

名 称	規 格	算 式	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$	$(2.10 \times 0.80 - 1.80 \times 0.63) \times 0.160$ $(0.800 + 2.100 + 0.800) \times 0.160 +$ $(0.630 + 1.800 + 0.630) \times 0.160$	0.087 m ³ 1.082 m ²
差筋	SD345 D13 L=130	-	15本

※差筋はボックスカルバート付属 (@250) とする。

コマ型ブロック基礎構造図 [参考図]



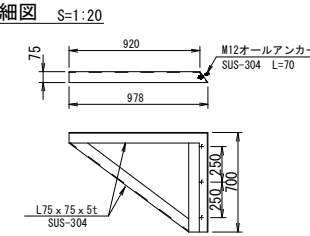
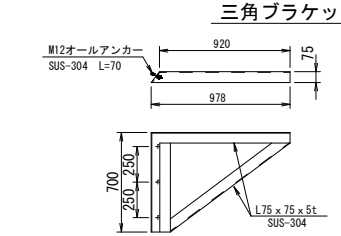
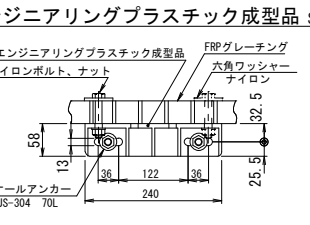
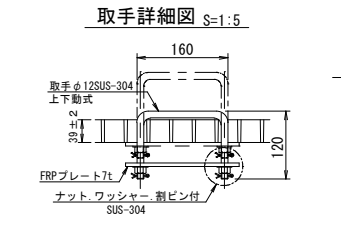
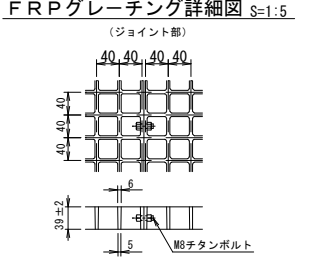
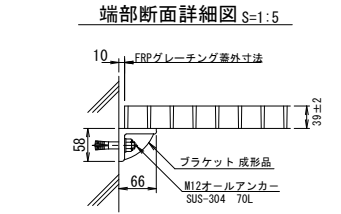
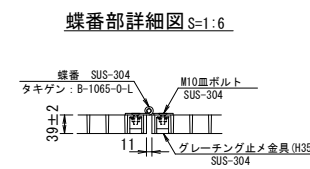
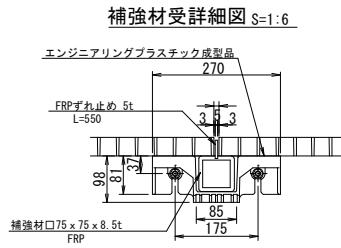
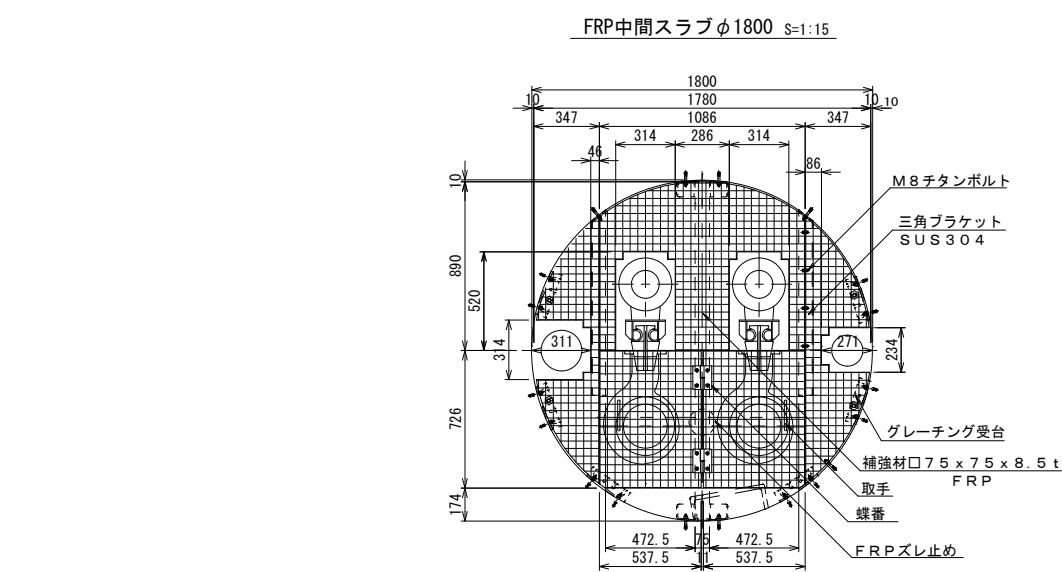
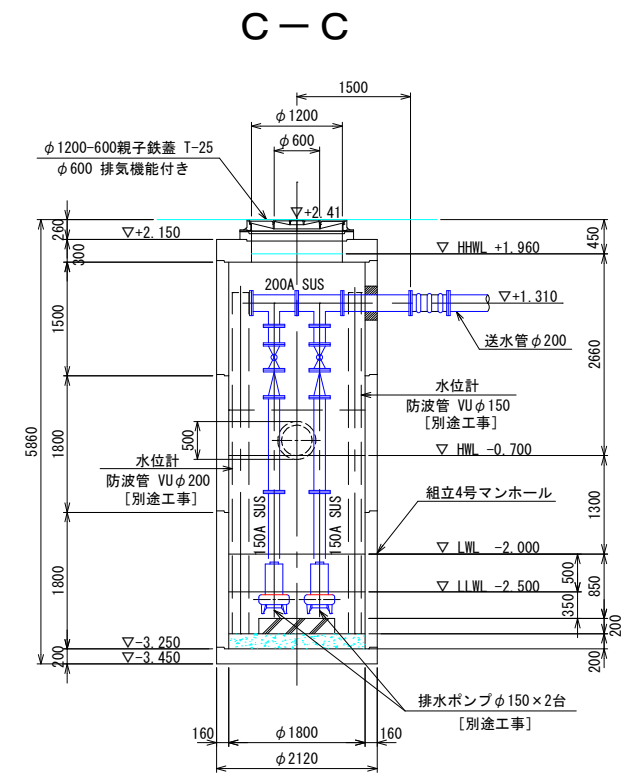
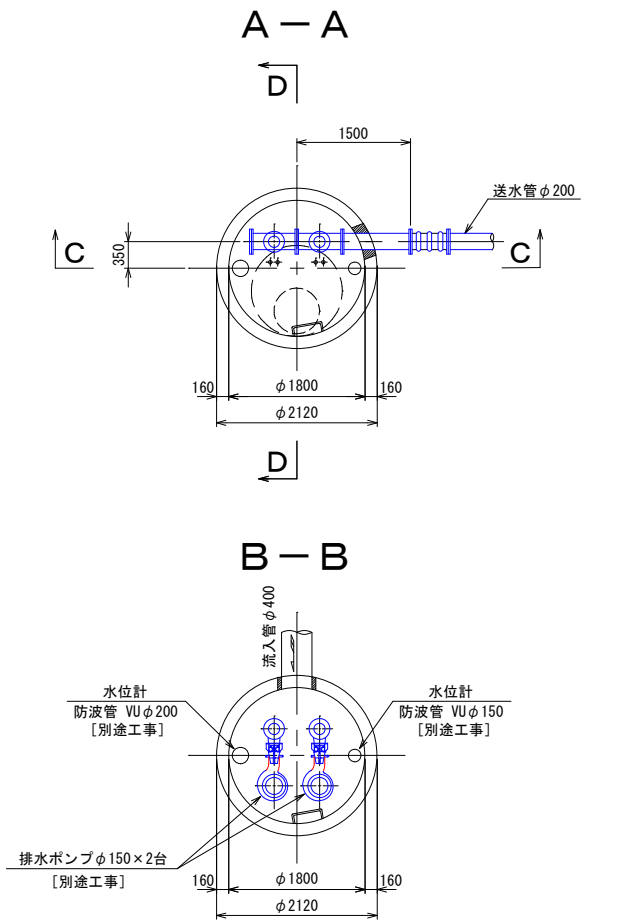
材料表

品 名	規 格	算 式	数 量
コマ型ブロック基礎	φ500型 (連結タイプ)	-	3 基
コマ型ブロック基礎	φ500型 (単独タイプ)	-	2 基
基礎コンクリート	18N/mm ²	$2.29 \times 2.50 \times 0.10$	0.573 m ³
基礎コンクリート型枠		$(2.29 \times 2 + 2.50) \times 0.10$	0.708 m ²
砕石基礎	RC-40	$2.49 \times 2.90 \times 0.50 -$ $(2 \times 0.02774 + 3 \times 0.1715)$	3.041 m ³
接続鉄筋	D13 L=1800 D13 L=2300 合計 D13	- - $(1.80 \times 5 + 2.30 \times 4) \times 0.995$	5 本 4 本 18.109 kg

工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事 (2期工事)
図 面 名	流入可動堰構造図 (2)
作成年月	令和 7 年 6 月
縮 尺	1:50 図面番号 33 / 37
会 社 名	
事業者名	竹 原 市

マンホールポンプ構造図(計画) S=1:50

FRP 中間スラブ参考図

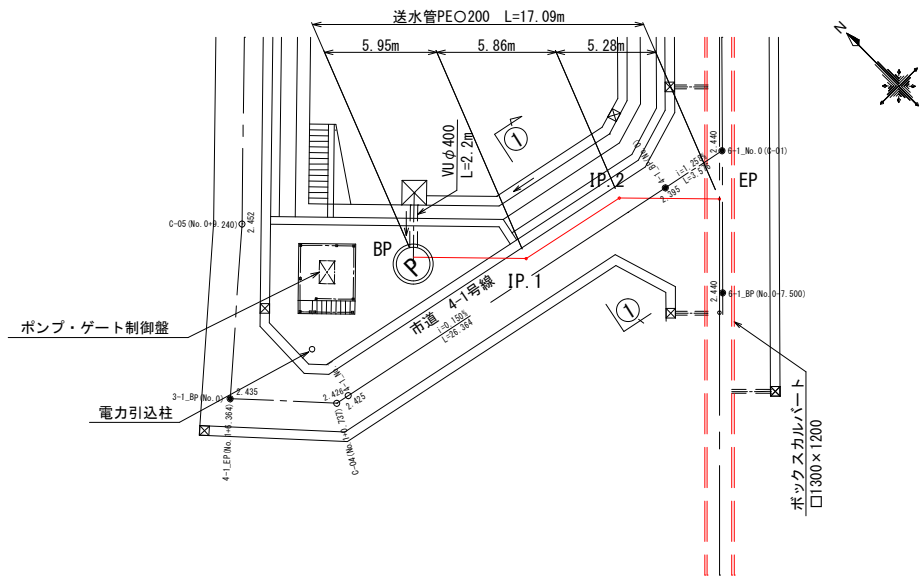


※指示なき公差は以下とする。

0 ~ 50	±1
51 ~ 100	±2
101 ~	±3

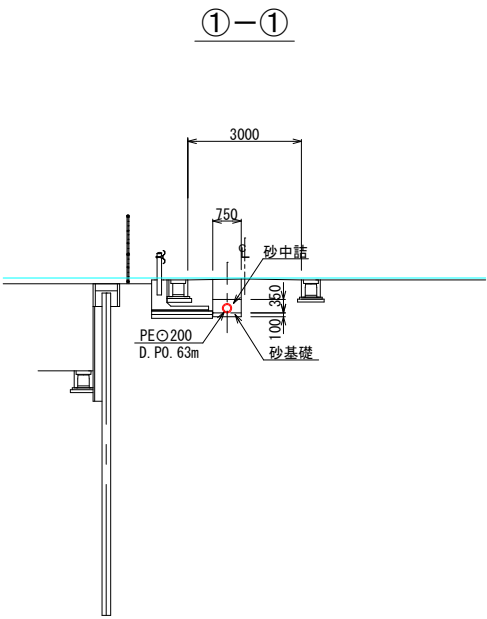
工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事 (2期工事)		
図 面 名	ポンプ井構造図		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	1:50	図面番号	34 / 37
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

送水管平面図 S=1:200

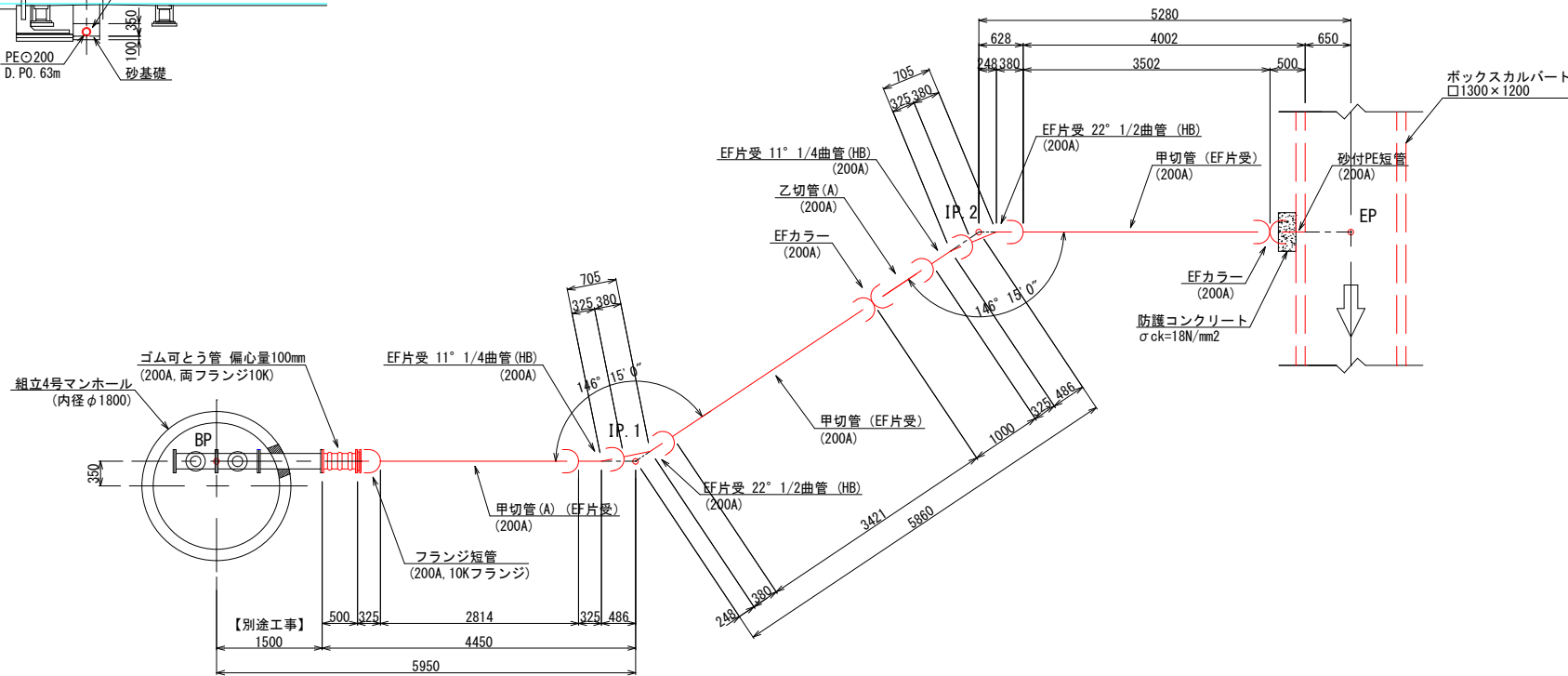


送水管布設図 S=図示

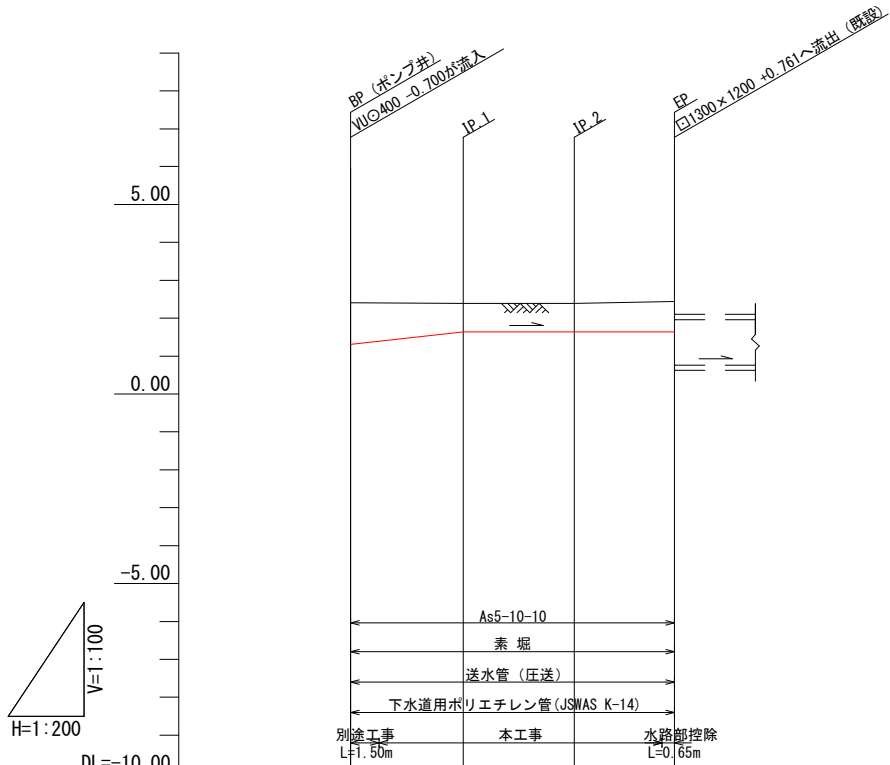
横断図 S=1:100



配管平面図 S=1:50
下水道用ポリエチレン管200A

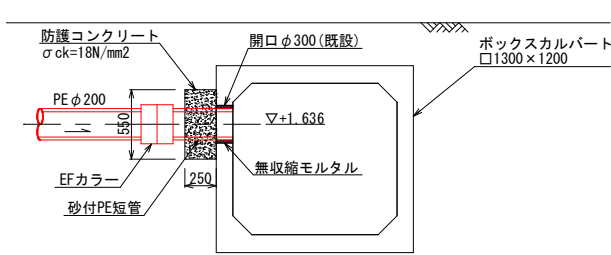


縦断図 V=1:100
H=1:200

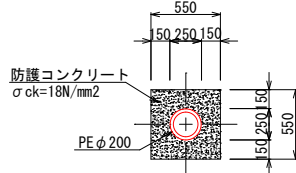


管 径	mm	φ200mm			
勾 配	‰	LEVEL			
区間距離	m	5.95	5.86	5.28	
地 盤 高	m	2.41	2.39	2.39	2.44
土 被 り	m	0.98	0.63	0.63	0.68
管中心高	m	1.310	1.636	1.636	1.636
掘 削 深	m	1.33	0.98	0.98	1.03
単 距 離	m	5.95	5.86	5.28	0.00
追加距離	m	17.09	11.14	5.28	0.00

吐け口詳細図 S=1:30

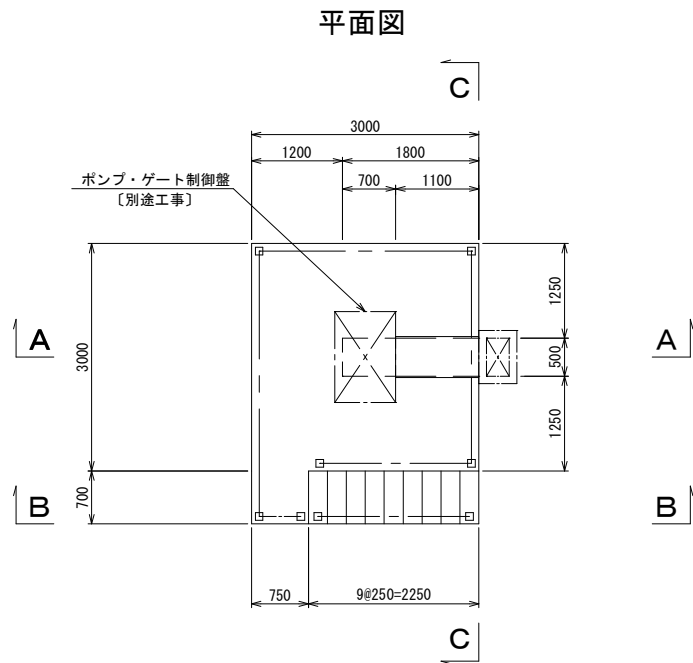


防護コンクリート S=1:30

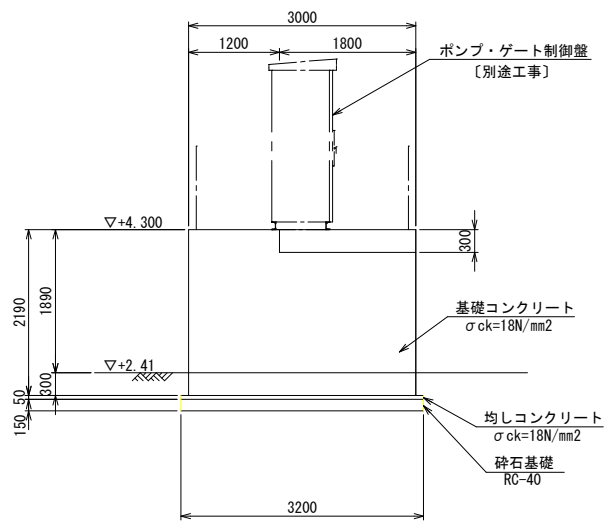


工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事 (2期工事)			
図 面 名	送水管3面図・配管図			
作成年月	令和 7 年 6 月			
縮 尺	図示	図面番号	35	／ 37
会 社 名				
事業者名	竹 原 市			

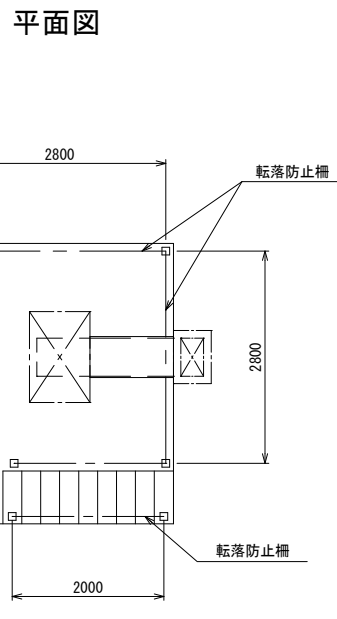
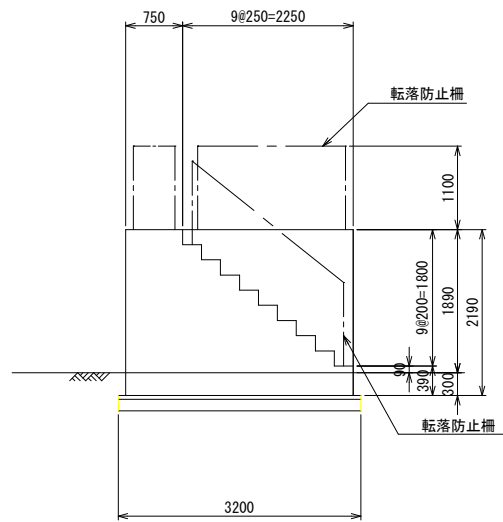
制御盤基礎構造図 S=1:50



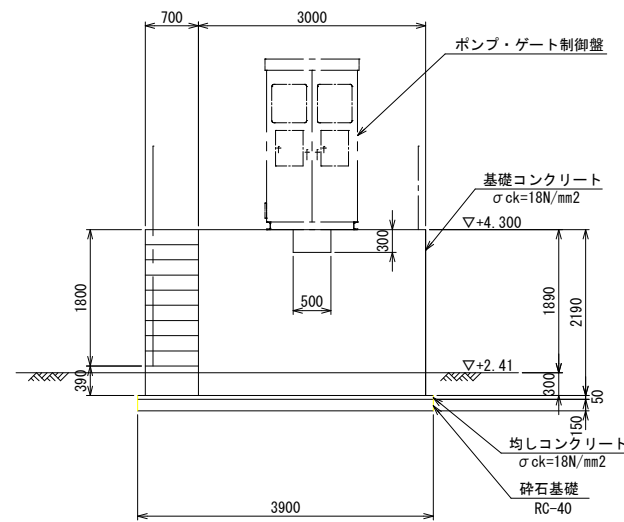
A - A



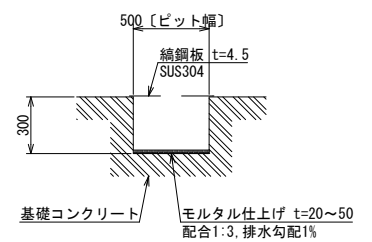
B - B



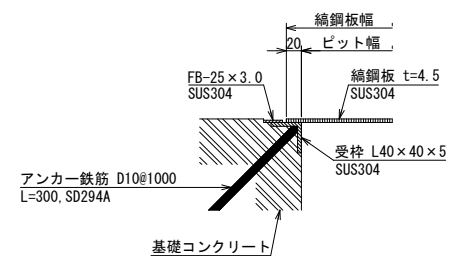
C - C



ピット標準断面図 S=1:20



ピット受枠詳細図 S=1:5

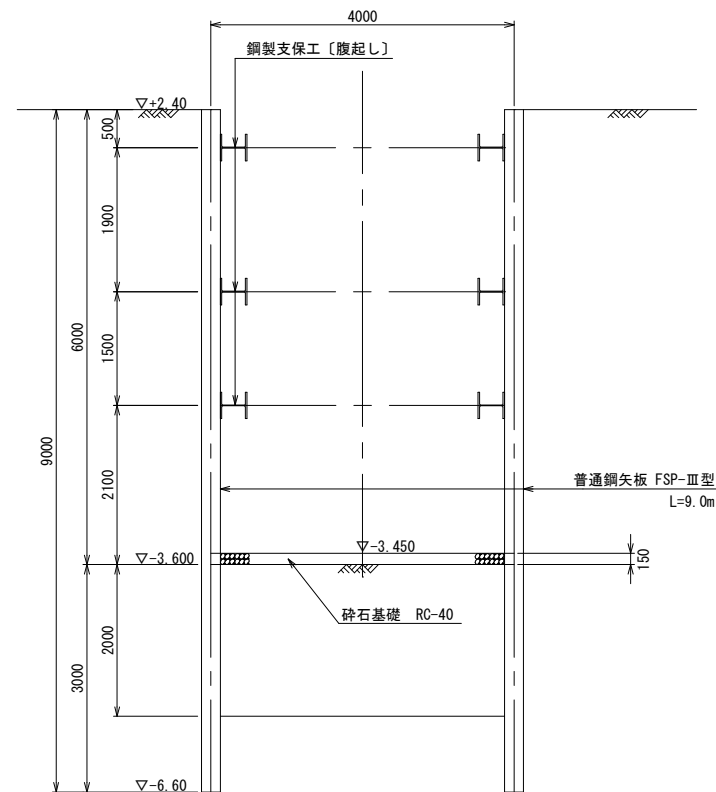


注記)
・地上部分のコンクリート表面は、モルタル仕上げ (t=20mm) とする。
・ポンプ制御盤、変圧盤、受電盤の据付は、別途工事とする。
・配線ピットには水抜きパイプVPφ25を設置すること。

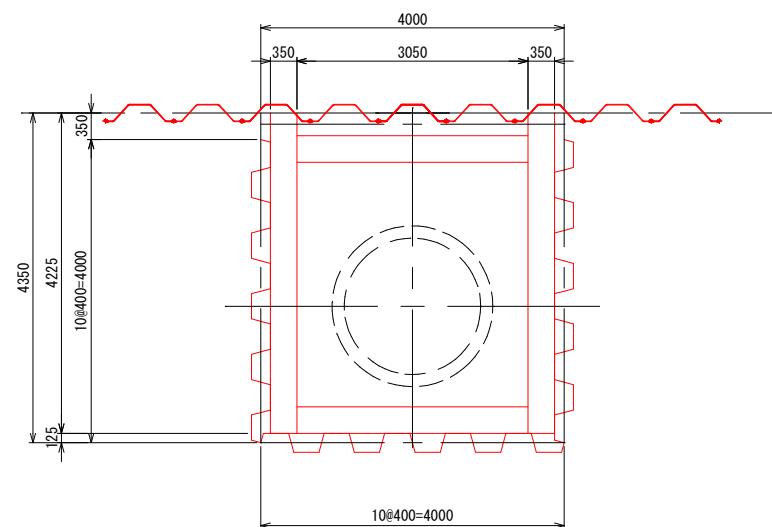
工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事 (2期工事)			
図 面 名	制御盤基礎構造図			
作成年月	令和 7 年 6 月			
縮 尺	図示	図面番号	36	/ 37
会 社 名				
事業者名	竹 原 市			

マンホールポンプ山留仮設図 S=1:50

山留工断面図

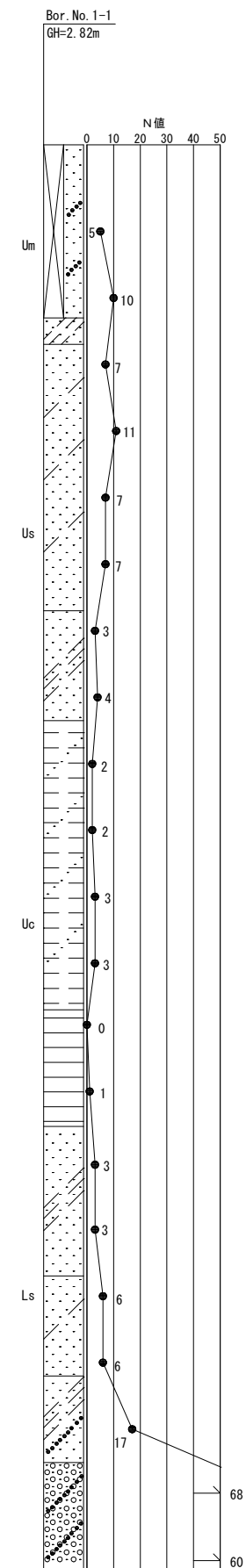


平面图



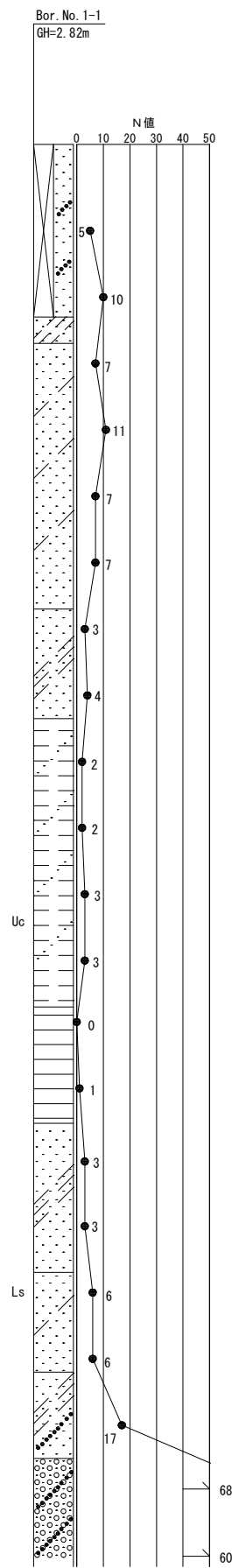
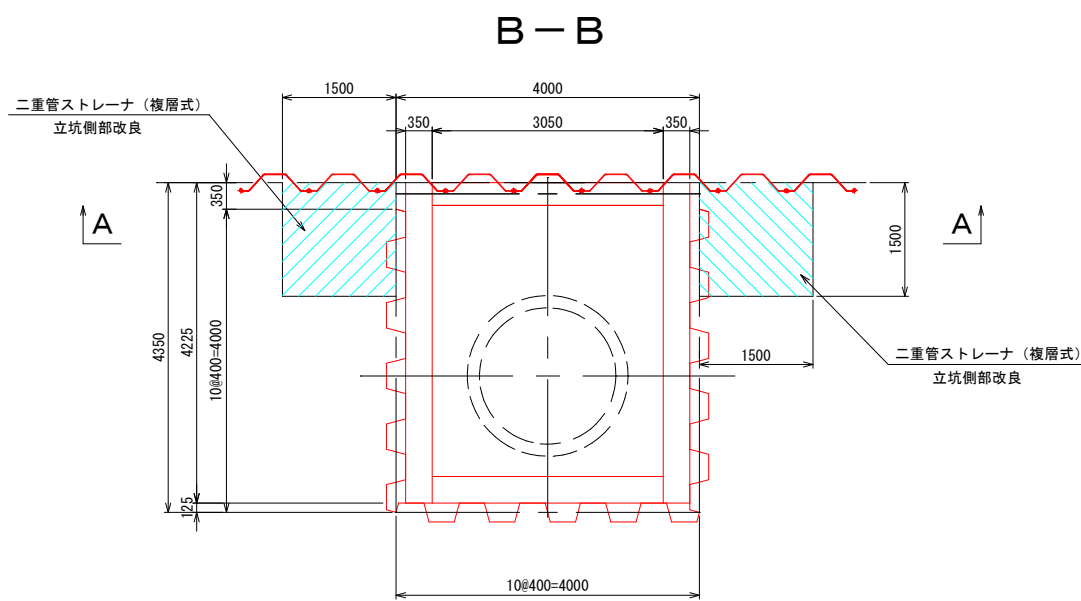
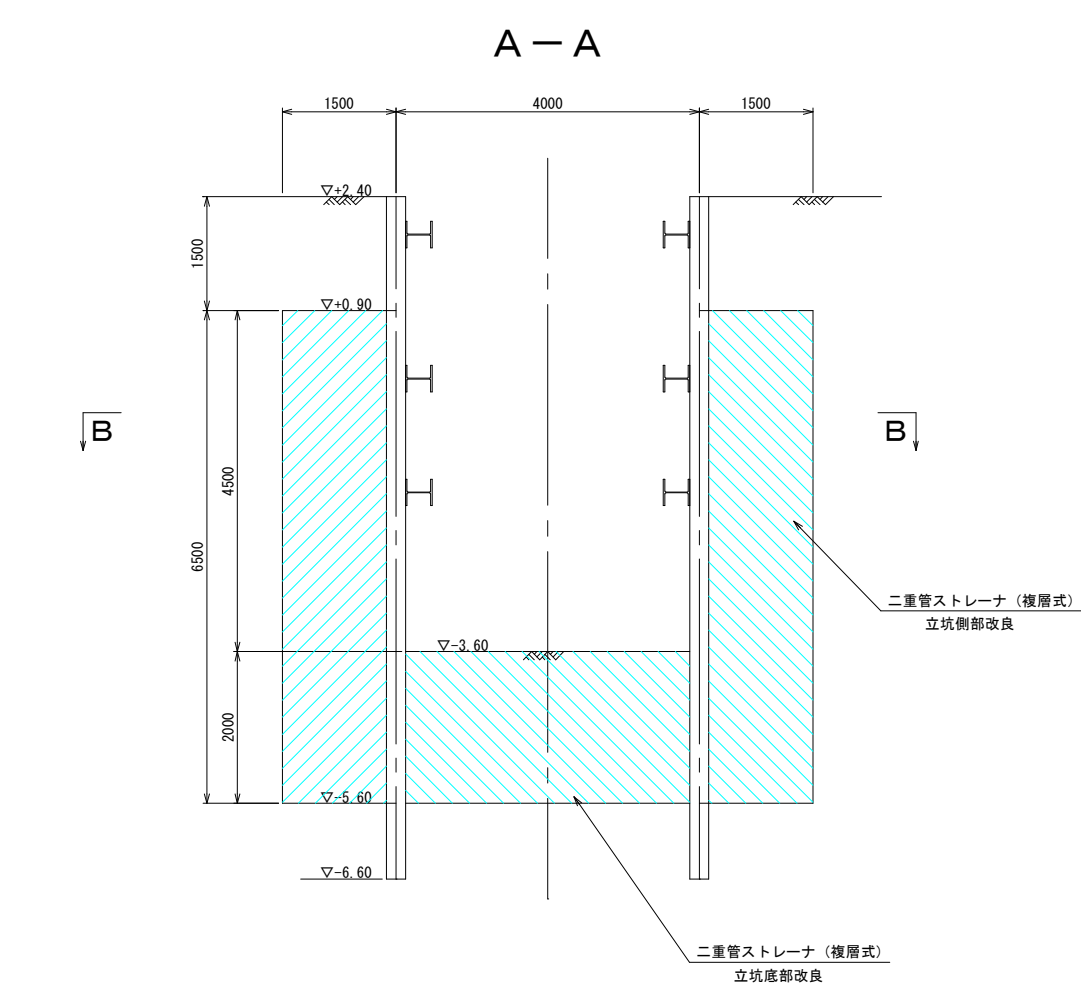
鋼製支保工材料表〔設置・撤去〕

種 別	設置深度	細 目	規 格	長 さ
1 段目支保材		腹起材 切梁材	H-350×350×12×19	L=4.225m×2, L=3.050m×2
2 段目支保材		腹起材 切梁材	H-350×350×12×19	L=4.225m×2, L=3.050m×2
3 段目支保材		腹起材 切梁材	H-350×350×12×19	L=4.225m×2, L=3.050m×2



工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王町整地整備工事（2期工事）		
図 面 名	マンホールポンプ山留仮設図		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図示	図面番号	参-1
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		

マンホールポンプ補助工法図 S=1:50



工 事 名	大王地区浸水対策事業 大王調整地整備工事 (2期工事)		
図 面 名	マンホールポンプ補助工法図		
作成年月	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図示	図面番号	参-2
会 社 名			
事業者名	竹 原 市		